

【参考】社会・地理歴史・公民 ワーキンググループ データ集

目次

1. 社会科等の学習全般

- (1) 社会科等の学習が好きな割合 3
- (2) 社会科等の学習をすれば、ふだんの生活や社会に出て役立つ 4
- (3) 社会科等の授業がどの程度分かりますか 5
- (4) 社会科等を学習して、よりよい社会の在り方を考えたいと思うようになった 6

2. 主権者教育・選挙関係

- (1) 若者の社会参画意識 7
- (2) 国政選挙における10代の投票率 8
- (3) 衆議院議員総選挙における年代別投票率の推移 9
- (4) 参議院議員選挙通常選挙における年代別投票率の推移 10
- (5) 高校における主権者教育の実施状況（R4） 11
- (6) 令和7年度主権者教育（政治的教養の教育）実施状況調査の結果（概要） 12
- (7) 「公共」の学習における生徒の学習状況及び教師の指導状況（高） 14
- (8) 選挙における投票行動に影響した情報媒体 15
- (9) SNSで見た情報の投票行動や投票先の決定への影響 16
- (10) SNS上での情報の見極め 17
- (11) 選挙におけるSNS上での候補者や政党の発信内容 18

3. デジタル学習基盤・デジタル技術関係

- (1) パソコンやタブレットなどコンピュータの活用状況（小・高） 19
- (2) コンピュータを活用した授業の実施状況（小・中・高） 21
- (3) 子どもたちを取り巻くデジタル環境 24
- (4) オンライン情報の信頼性の確認方法についての国際比較 25

- (5) フェイク情報への懸念と生成AIの影響 26
- (6) 生成AIに対するイメージ 27
- (7) 生成AIの理解傾向 28

4. 地域調査・学校内外の施設の活用

- (1) 地域調査（フィールドワークや聞き取り調査等）の現状と課題 29
- (2) 資料や地域の素材・人材の活用（高） 30
- (3) 博物館や郷土資料館などの施設を活用した授業、地域の素材や人材を活用した授業 31

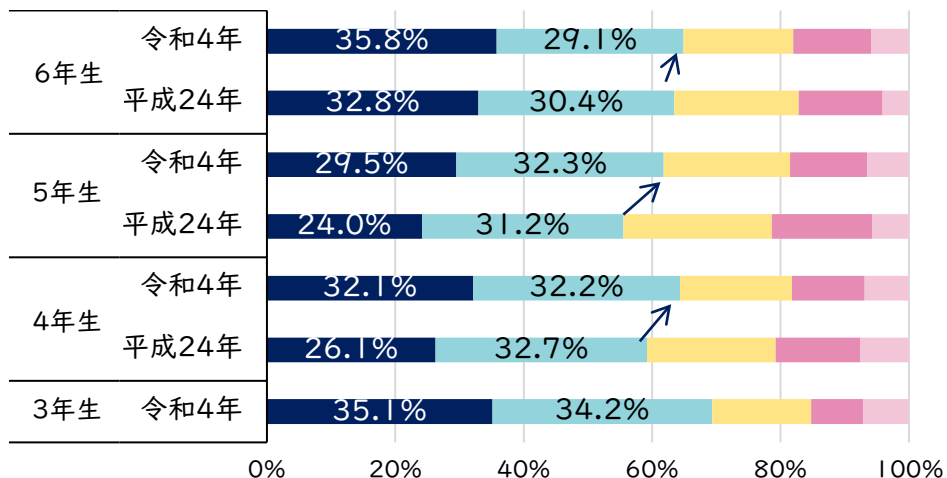
5. 課題を追究・解決する学習

- (1) 問題解決的な学習への意識（中） 35
- (2) 学習課題やテーマを決めて議論することについて（高） 36
- (3) 課題解決的な授業・学習活動の実施状況（中・高） 37
- (4) 資料などを使って説明することについて（小・中） 39
- (5) 図に表したり文章で書くことについて（中） 41
- (6) 生徒に調査・探究を促す指導状況（中） 42
- (7) 情報の精査、考えを深めるための指導状況（中） 43
- (8) 複数の資料・立場から考える活動や情報精査の指導状況（高） 44

◆ 社会科の学習が好きな児童生徒は小中学校を中心として増加している

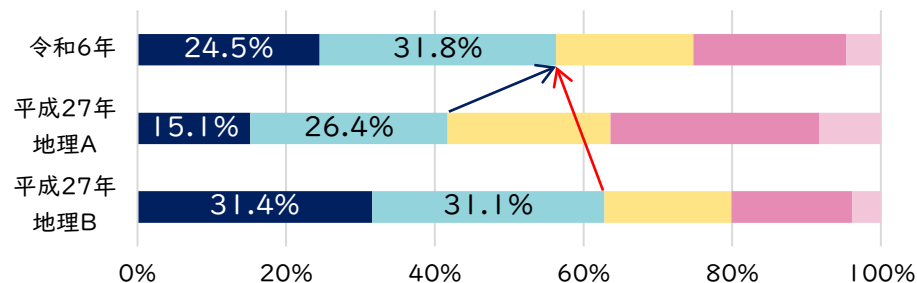
小学校

社会科の学習が好きだ

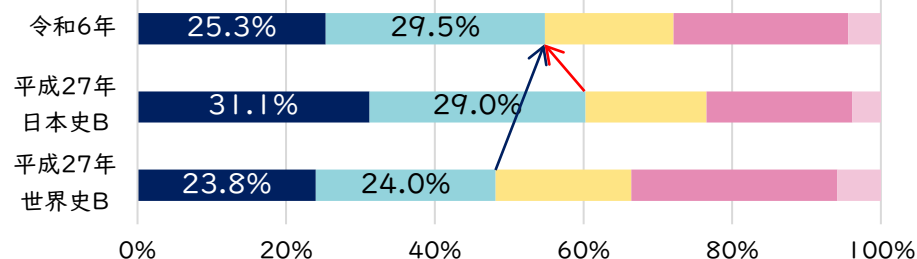


高等学校

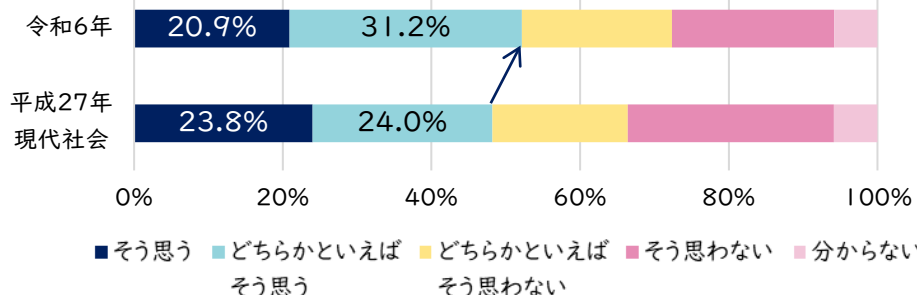
地理総合 (H27地理A,B) の学習が好きだ



歴史総合 (H27日本史B,世界史B) の学習が好きだ



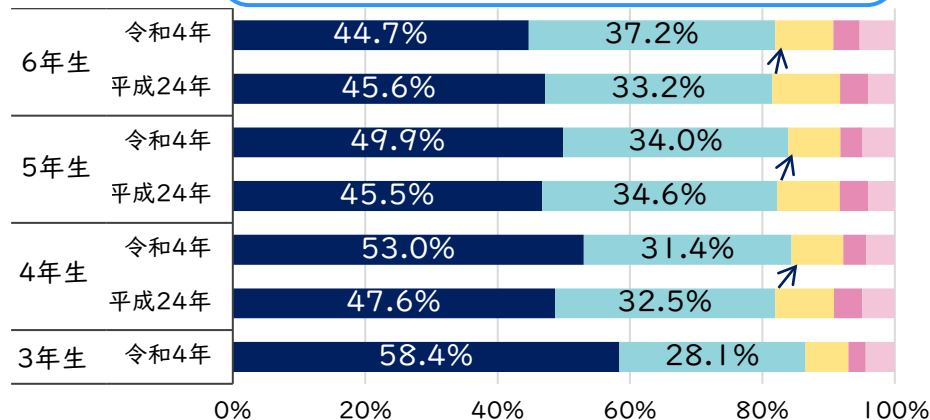
公共 (H27現代社会) の学習が好きだ



◆ 社会・地理歴史・公民を学習すれば、生活や社会の役に立つと思う児童生徒は増加傾向にある

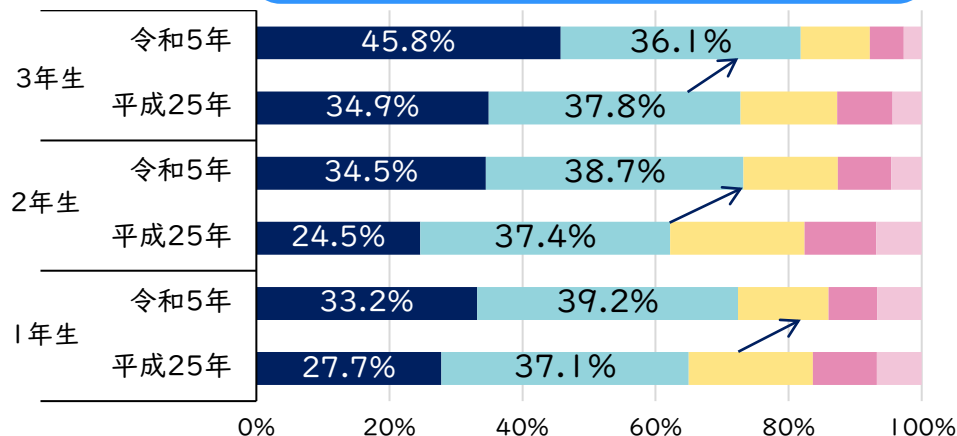
小学校

社会科の学習をすれば、ふだんの生活や社会に出て役立つ



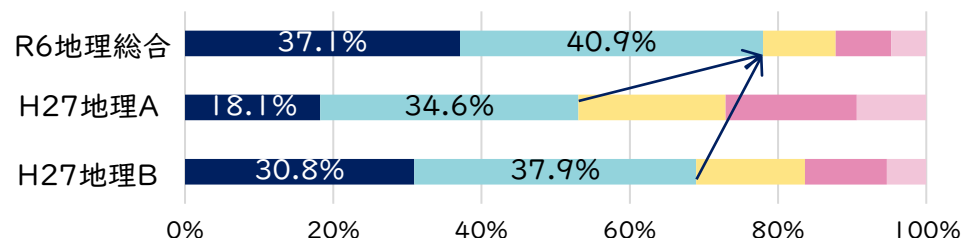
中学校

社会科の学習をすれば、ふだんの生活や社会に出て役立つ

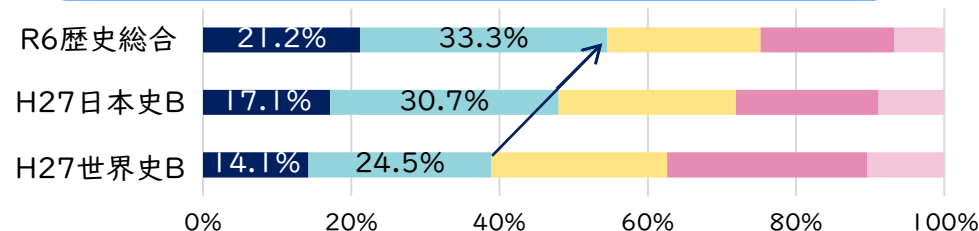


高等学校

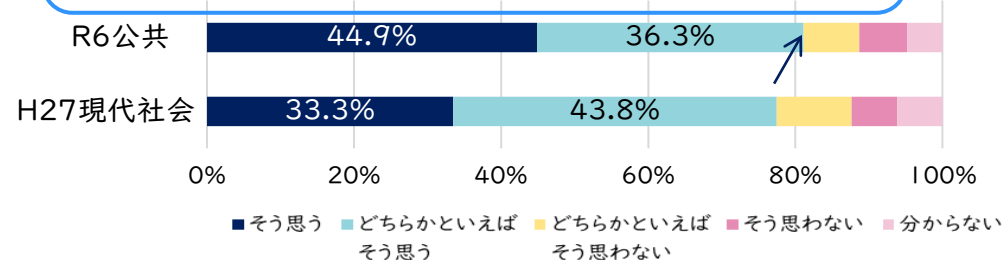
地理総合(H27地理A,B)の学習をすれば、ふだんの生活や社会に出て役立つ



歴史総合(H27日本史B,世界史B)の学習をすれば、ふだんの生活や社会に出て役立つ



公共(H27現代社会)の学習をすれば、ふだんの生活や社会に出て役立つ

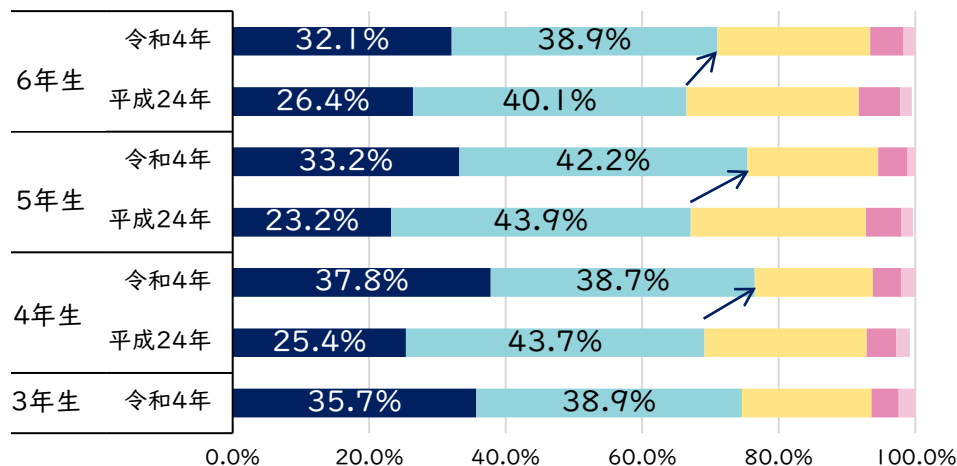


■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない ■ 分からない

◆ わかりやすいと感じる授業が増加

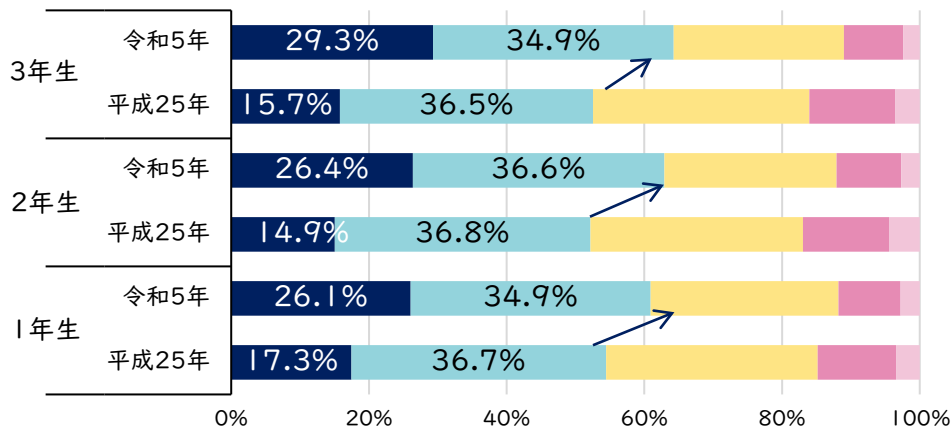
小学校

社会科の授業がどの程度分かりますか



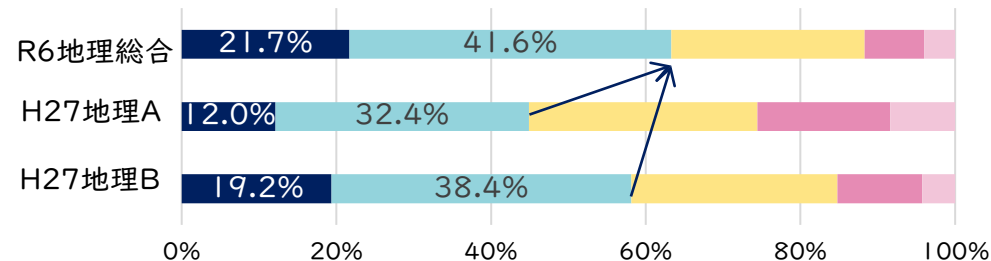
中学校

社会科の授業がどの程度分かりますか

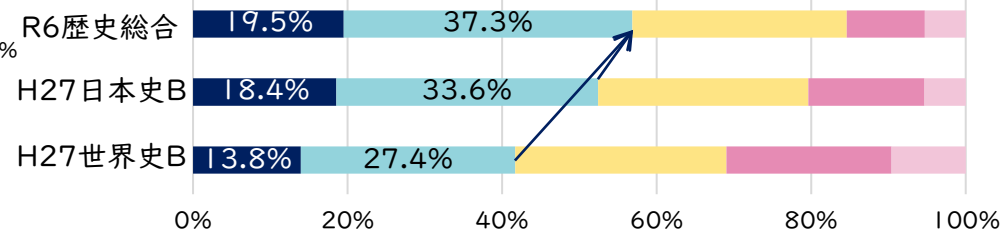


高等学校

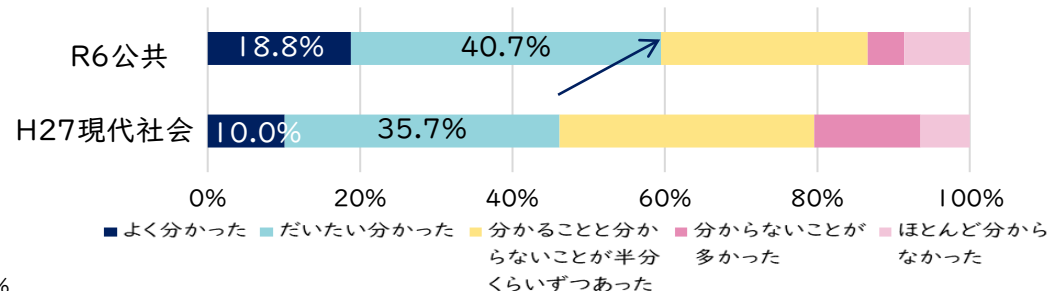
地理総合(H27地理A,B)の授業がどの程度分かりますか



歴史総合(H27日本史B,世界史B)の授業がどの程度分かりますか



公共(H27現代社会)の授業がどの程度分かりますか



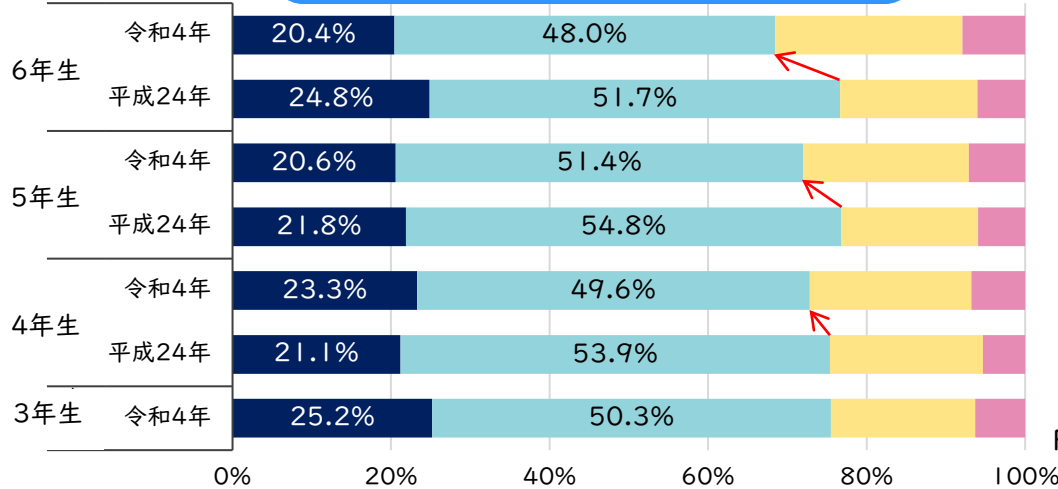
(出典) 学習指導要領実施状況調査より(暫定値)

※調査方法や設問等については、前回調査と異なる場合があることに留意する必要がある。

◆ 社会の一員としてのよりよい社会づくりの意識に課題

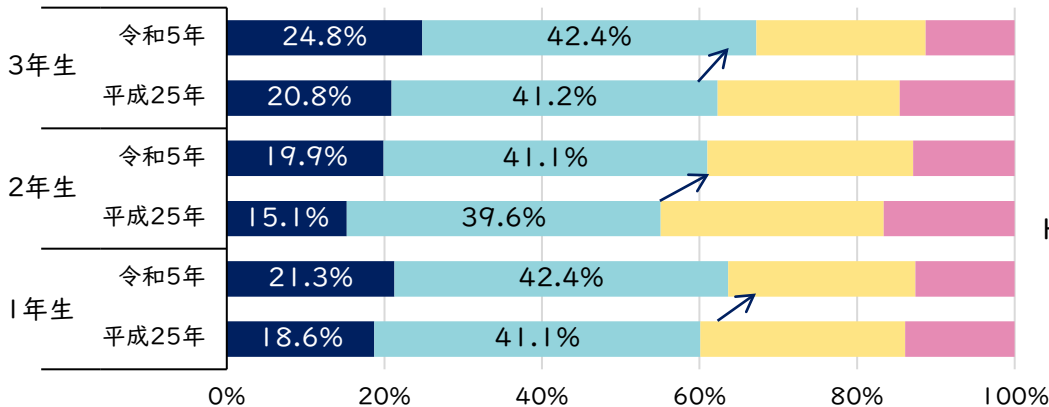
小学校

社会科の学習をもとにして、これからのよりよい社会について考えることができますか



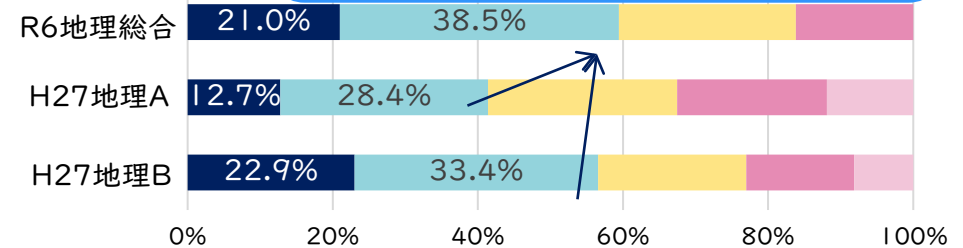
中学校

社会の一員としてよりよい社会を考えることができるよう、社会科を勉強したいと思うようになりましたか

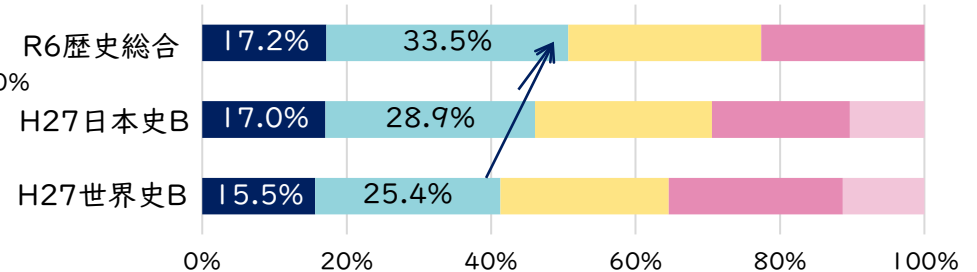


高等学校

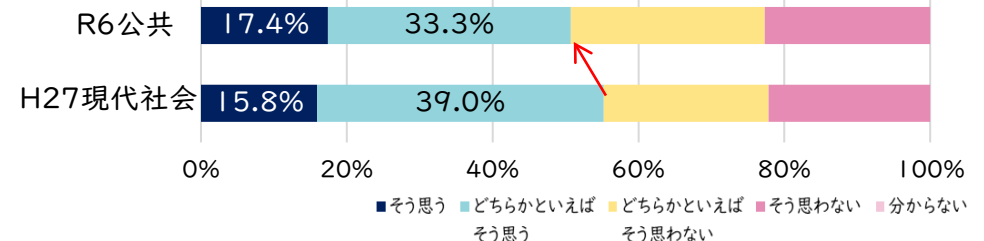
地理総合(H27地理A,B)を学習して、社会の一員としてよりよい社会を考えることができるよう、社会科を勉強したいと思うようになりましたか



歴史総合(H27日本史B,世界史B)を学習して、社会の一員としてよりよい社会を考えることができるよう、歴史総合を勉強したいと思うようになりましたか



公共(H27現代社会)を学習して、社会の一員としてよりよい社会を考えることができるよう、公共を勉強したいと思うようになりましたか

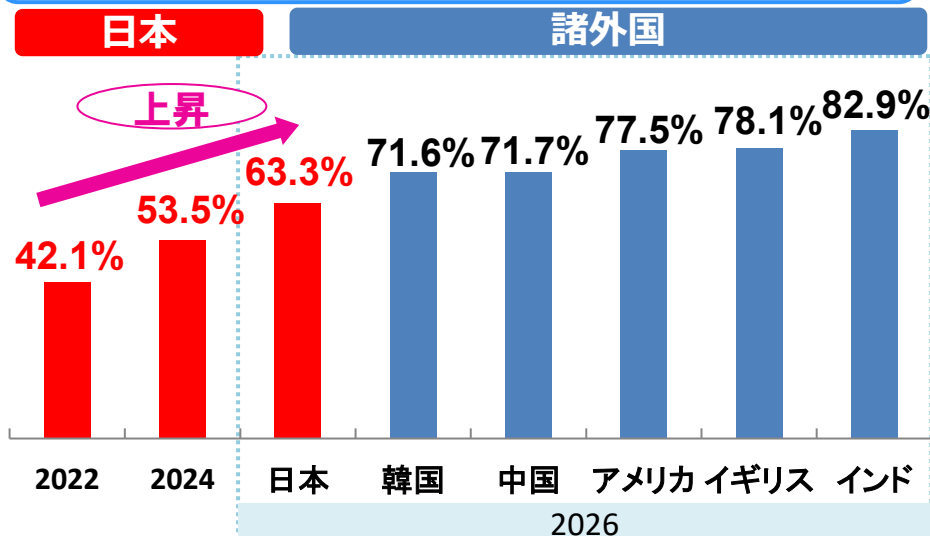


(出典) 学習指導要領実施状況調査より(暫定値)

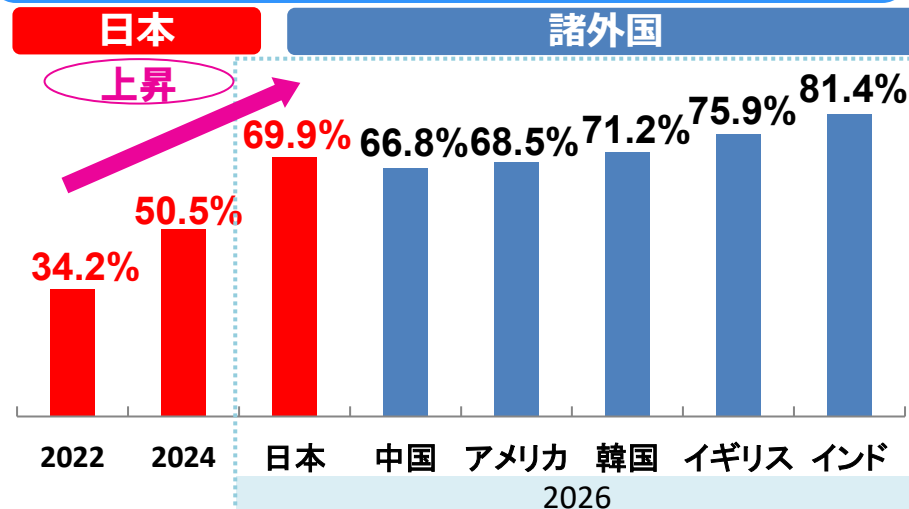
※同一の質問ではなく、同趣旨の質問等で比較している場合があることに留意する必要がある。

◆ 18歳の当事者意識は上昇傾向だが、諸外国と比較すると低い水準である

①政治や選挙、社会問題について、自分の考えを持っている

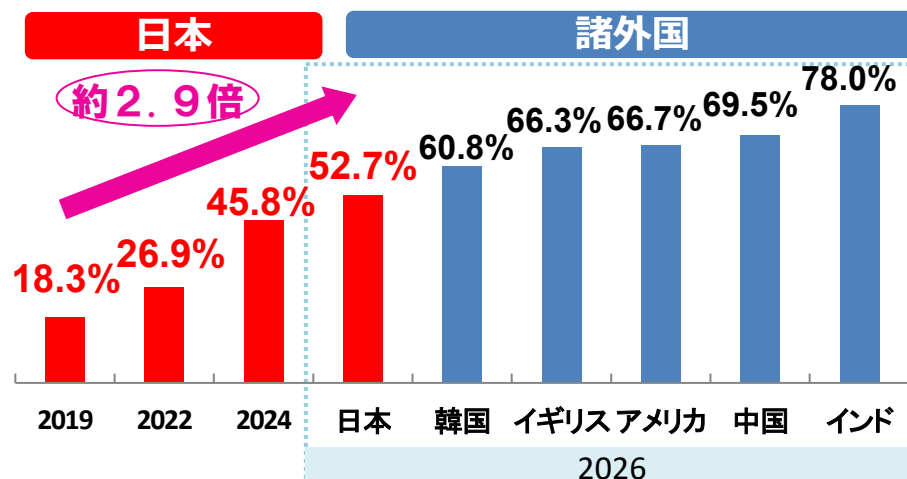


②政治や選挙、社会問題について家族や友人と議論することは大切だと思う



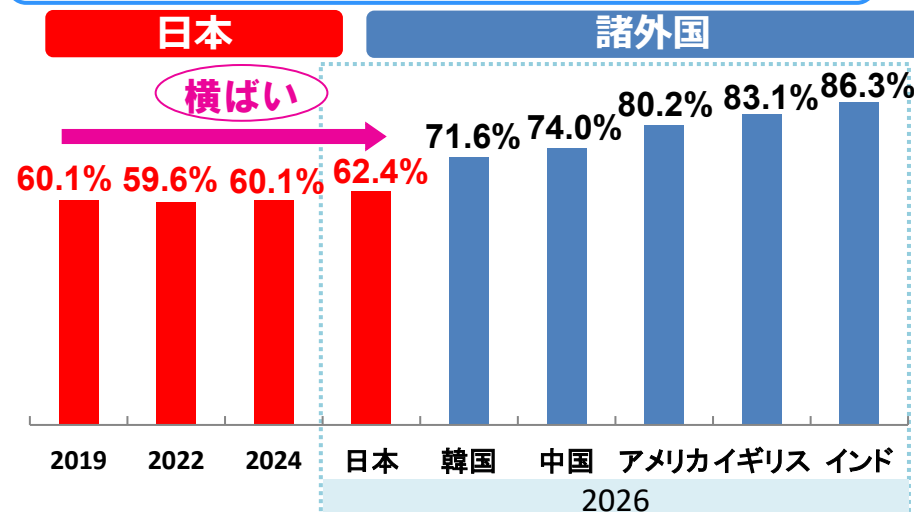
※22年、24年の質問項目は、「政治や選挙、社会問題について家族や友人と議論することがある」であったことに留意

③わたしの行動で国や社会を変えられると思う



※19年の質問項目は、「自分で国や社会を変えられると思う」、22年、24年の質問項目は「自分の行動で、国や社会を変えられると思う」であったことに留意

④将来の夢を持っている



(出典) 日本財団 18歳意識調査より

直近の国政選挙における10代の投票率（速報値）について

◆ 10代の投票率は、約4割程度と全体の投票率と比べて低い

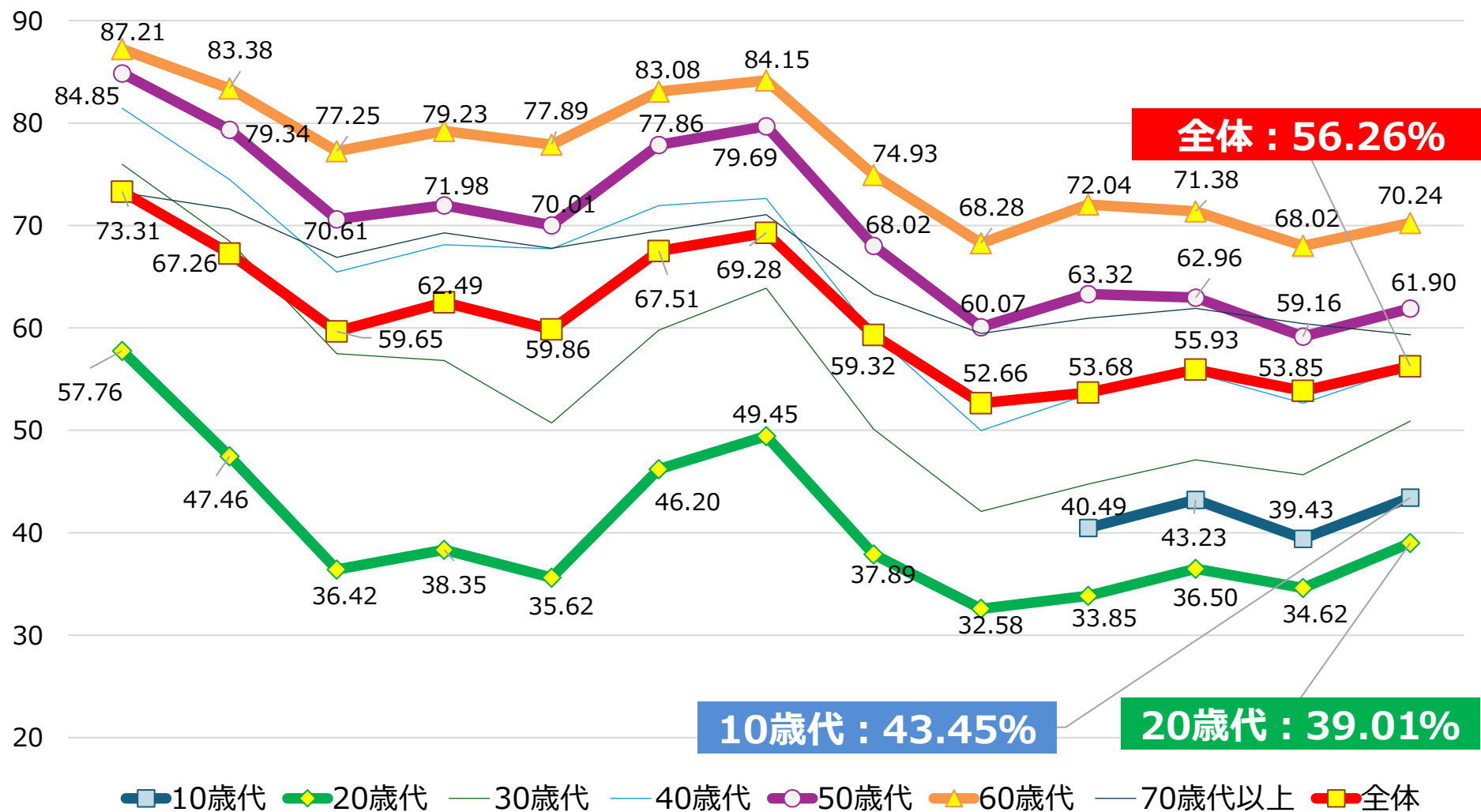
○第27回参议院議員通常選挙 年齢別投票者数調（18歳・19歳）（抜粋）
R7.9.19

年齢	投票率（%）			【参考】全体投票率（%）		
	男	女	計	男	女	計
18	46.97	51.98	49.38	59.27	57.80	58.51
19	40.15	41.96	41.04			
計	43.66	47.01	45.29			

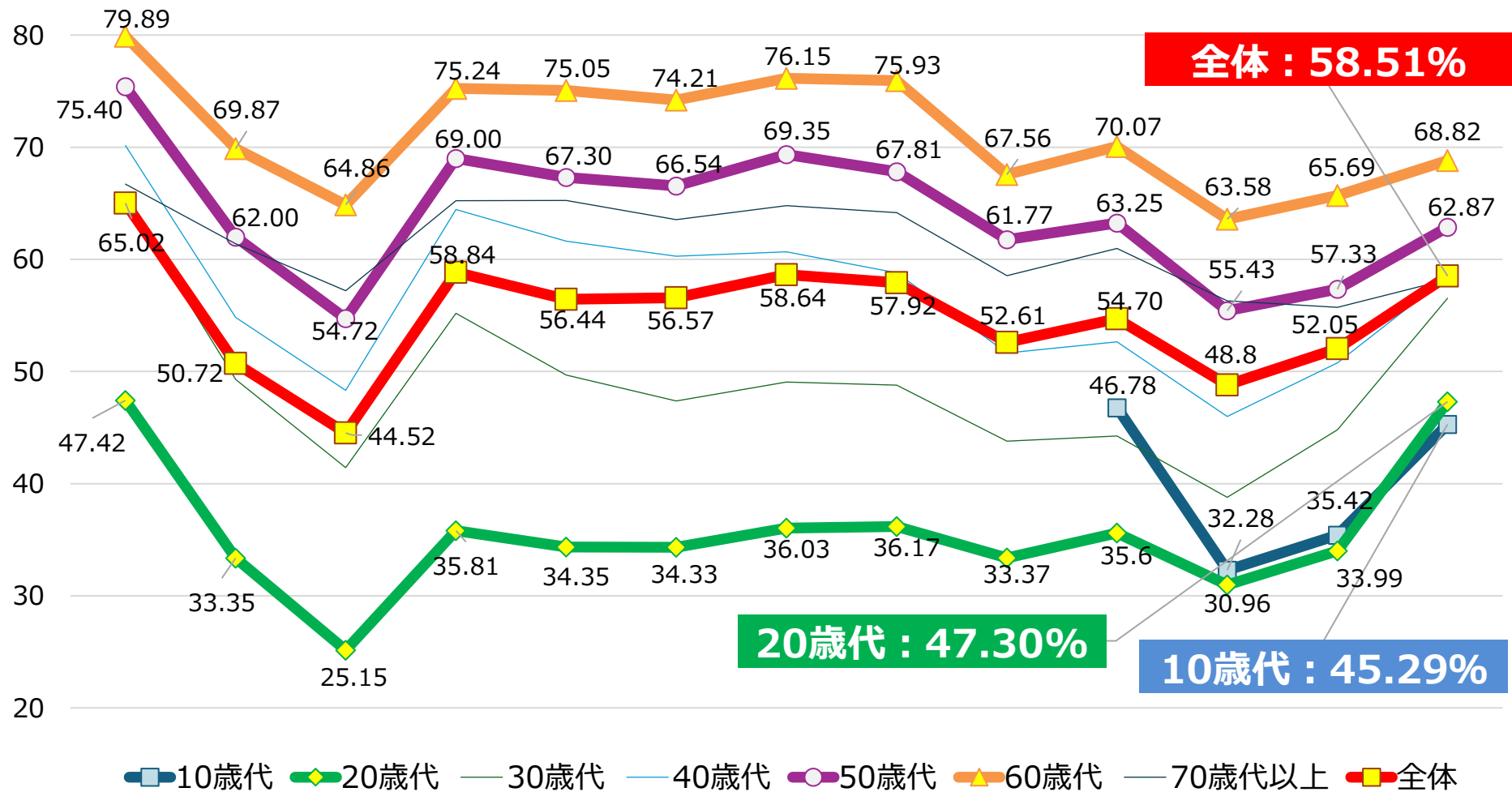
○第51回衆議院議員総選挙 年齢別投票者数調（18歳・19歳）（抜粋）
R8.3.12

年齢	投票率（%）			【参考】全体投票率（%）		
	男	女	計	男	女	計
18	50.04	52.93	51.47	57.13	55.44	56.26
19	33.85	36.59	35.20			
計	42.04	44.90	43.45			

◆ 若者の投票率は、約 4 割程度と他の世代と比べて低い

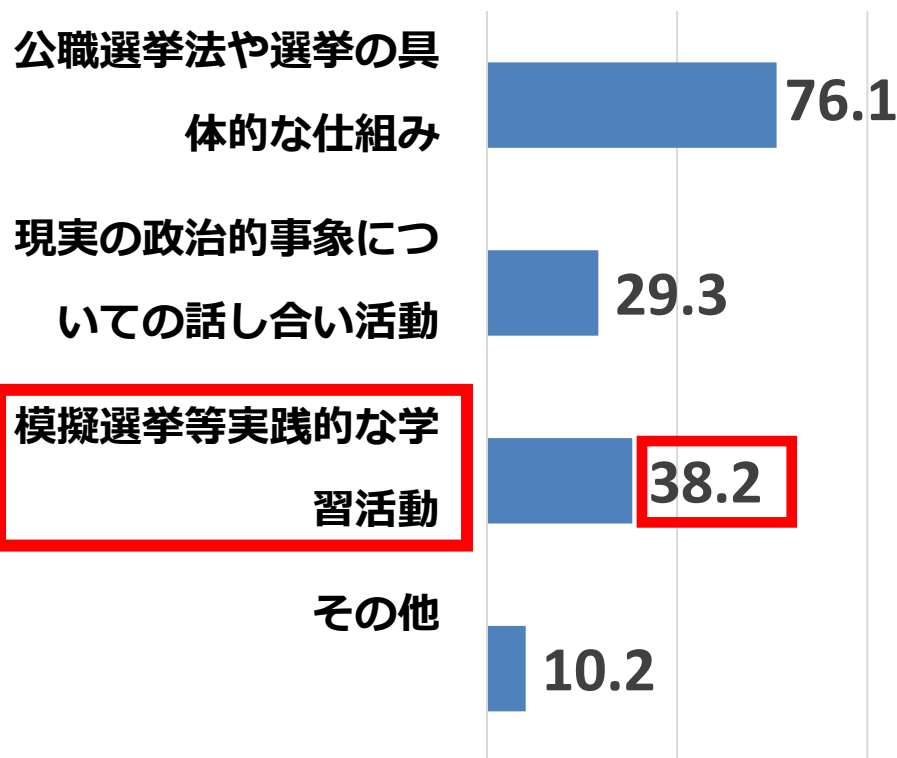


◆ 若者の投票率は、約5割以下と他の世代と比べて低い

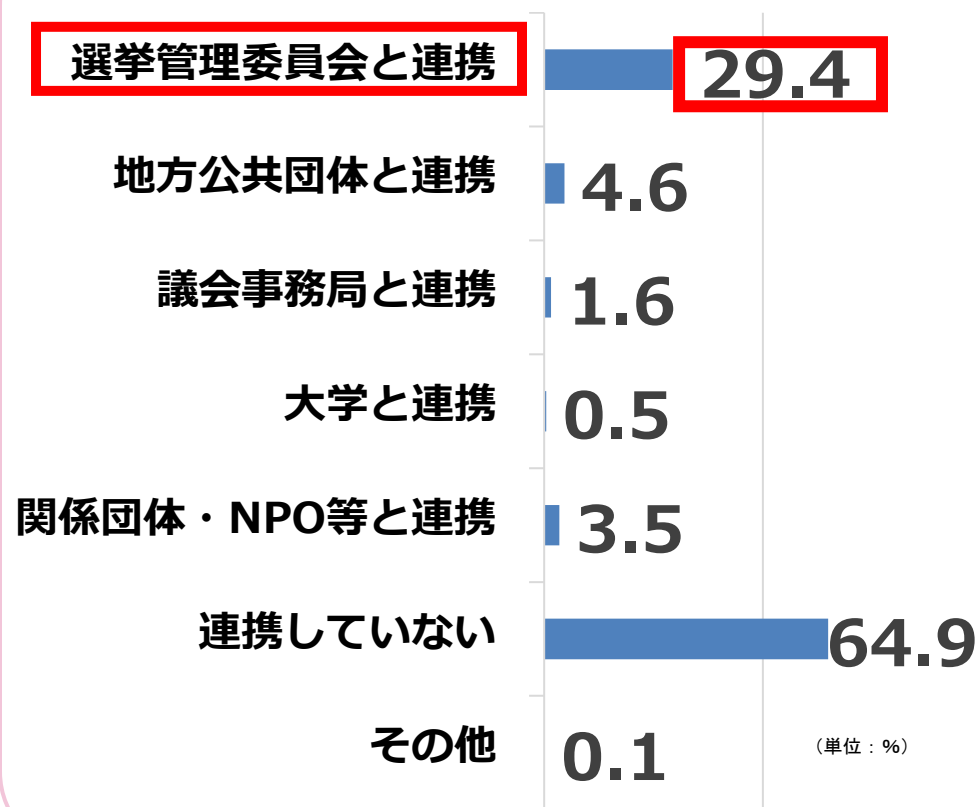


- ◆ 模擬選挙等の実践的な活動は約 4 割、選挙管理委員会等と連携した取り組みは約 3 割となっている

実施した学習活動



連携した機関



※全国の国公立高等学校(定時性・通信制、特別支援学校高等部等含む)のうち1,629校を対象
(有効回答数 1,306校 回収率 80.2%)

(出典) 令和4年度主権者教育(政治的教養の教育)実施状況調査(抽出調査)について(文部科学省)



(1)主権者教育の実施状況（学年別）

第1学年**74.0%**、第2学年**77.6%**、第3学年**80.3%**、第4学年**46.8%**が何らかの教科・科目で実施していると回答

(2)主権者教育の実施した主な教科・科目（学年別）※複数回答可

いずれの学年でも**公民科、特別活動、総合的な探究の時間**の順が多かった。

主権者教育を実施した主な教科・科目（学年別）

	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年
1 公民科（特別支援学校（知的障害）高等部では社会科）	46.9 %	47.7 %	45.9 %	28.7 %
2 特別活動（ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事等）	33.5 %	34.7 %	37.8 %	22.5 %
3 総合的な探究の時間	12.4 %	14.7 %	12.8 %	7.2 %

※母数は「対象学年が在籍していない」を除く回答数
※「実施していない」と回答した学校は、第1学年26%、第2学年22.4%、第3学年19.7%、第4学年53.2%

■調査目的
令和7年度における主権者教育に関する取組の実施状況の把握

■調査対象
国公立高等学校等（全日制・定時制・通信制、中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部）2,234校を対象（有効回答数1,823校 回収率81.6%）

■調査時期
2026年2月4日～2月27日

(3)学習活動の内容（学年別）※複数回答可

いずれの学年においても、**公職選挙法や選挙の具体的な仕組みに対する理解を深める活動**が最も多く実施。

第1～3学年では、これに次いで、**模擬選挙・模擬請願や模擬議会などの実践的な学習活動**が多い。

第4学年では、これに次いで、**現実の政治的事象について考察を深めるための話合いや意見交換、議論**が多く実施。

学習活動の内容（学年別）

	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年
1 公職選挙法や選挙の具体的な仕組みの理解を深める学習活動	50.0 %	53.5 %	55.8 %	33.6 %
2 模擬選挙、模擬請願、模擬議会などの実践的な学習活動	28.1 %	32.1 %	31.4 %	13.7 %
3 現実の政治的事象について考察を深めるための話合いや意見交換、議論	19.2 %	24.6 %	27.6 %	15.9 %
4 SNS等のインターネットやメディアを通じた政治や選挙に関する情報収集やその留意点に関する学習活動	17.1 %	17.8 %	19.9 %	13.2 %
5 地域の課題解決を目標として主体的に活動する学習活動	13.2 %	14.5 %	12.7 %	7.9 %

※母数は「対象学年が在籍していない」を除く回答数

(4)外部団体・人材との連携（学年別） ※複数回答可

いずれの学年においても、連携していないと回答した学校が3～4割。

連携している場合、連携先として最も多くあげられたのは、いずれの学年においても**選挙管理委員会**であり、これに**地方公共団体**、**主権者教育に関する関連団体・NPO**と続いた。その他の連携先（記述）として、**地元企業**や**弁護士会**、**税務署**、**他校の生徒会**などがあげられた。

外部団体・人材との連携（学年別）

	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年
1 選挙管理委員会	18.7 %	23.0 %	21.4 %	10.2 %
2 地方公共団体	6.2 %	7.4 %	7.0 %	2.6 %
3 主権者教育に関する関連団体・NPO	3.0 %	3.6 %	4.5 %	1.9 %
4 大学	2.2 %	2.7 %	2.5 %	1.5 %
5 議会事務局	1.4 %	2.2 %	1.8 %	0.6 %
6 連携していない	42.9 %	38.7 %	42.0 %	33.9 %

※母数は「対象学年が在籍していない」を除く回答数

(5)現実の選挙を題材にした指導（設置者別） ※複数回答可

いずれかの学年において**現実の選挙（令和7年7月の参議院議員通常選挙、令和8年2月の衆議院議員総選挙、地方選挙）**を題材に指導を実施した／する予定と回答した学校は**52.8%**。

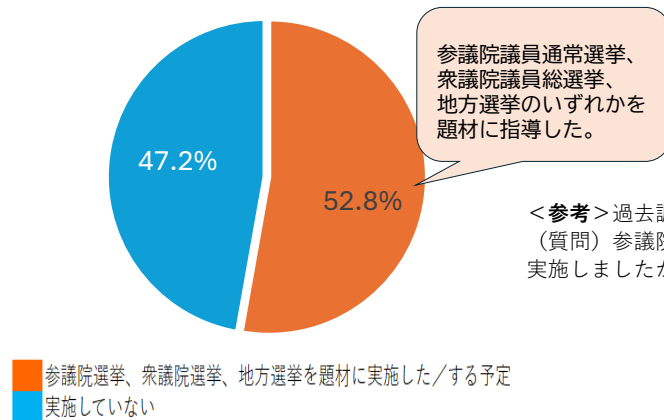
過去調査（令和4年度、令和元年度）では、第3学年の生徒を対象に参議院議員通常選挙を題材にした指導を実施したかを問うており、令和4年度は44.9%、令和元年度は41.9%の学校が実施したと回答。

現実の選挙を題材にした指導（設置者別）

	公立	国立	私立等	合計
0 実施していない	44.1 %	54.4 %	54.7 %	47.2 %
1 参議院議員通常選挙を題材として実施した	40.0 %	31.6 %	30.3 %	37.2 %
2 衆議院議員総選挙を題材として実施した／実施する予定	35.3 %	31.6 %	33.3 %	34.7 %
3 地方選挙（首長・地方議員）を題材として実施した／実施する予定	11.2 %	12.3 %	6.74 %	10.1 %

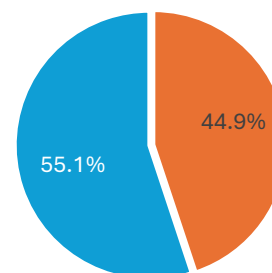
※母数は回答した学校数

令和7年度（全学年を対象）

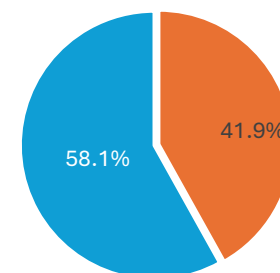


<参考> 過去調査の結果（第3学年を対象）
（質問）参議院議員通常選挙を題材に指導を実施しましたか。

令和4年度（第3学年を対象）



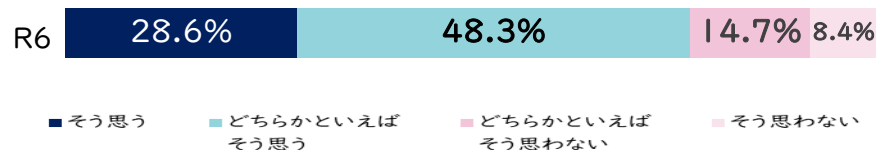
令和元年度（第3学年を対象）



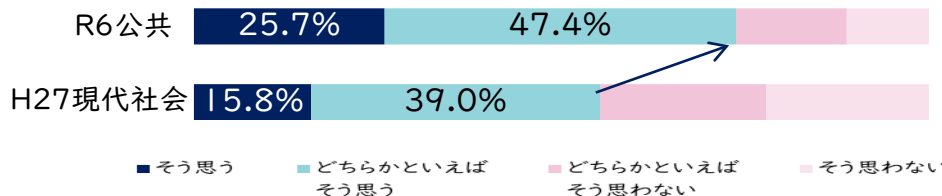
■ 参議院選挙を題材に実施した
■ 実施していない

◆ 人間としての在り方生き方についての探究の意識や、社会の一員としてのよりよい社会づくりの意識に成果が見られる

「公共」の学習をして、よりよく生きるための手掛かりを得ることができるようになった【生徒質問】

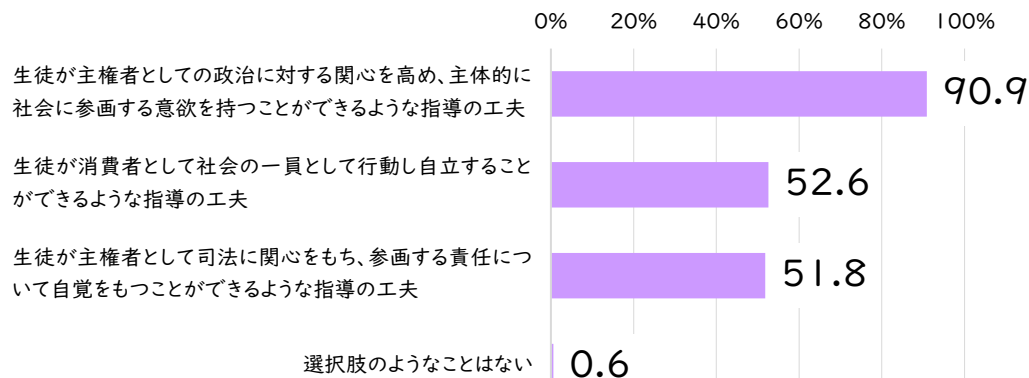


「公共」の学習をして、社会の一員としてよりよい社会を考えることができるようになった【生徒質問】

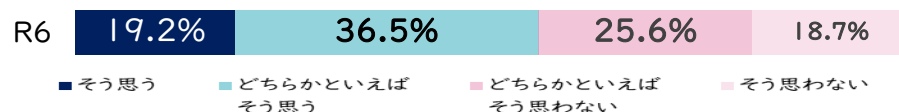


◆ 社会参画意識の涵養に関する指導の質的な充実への期待

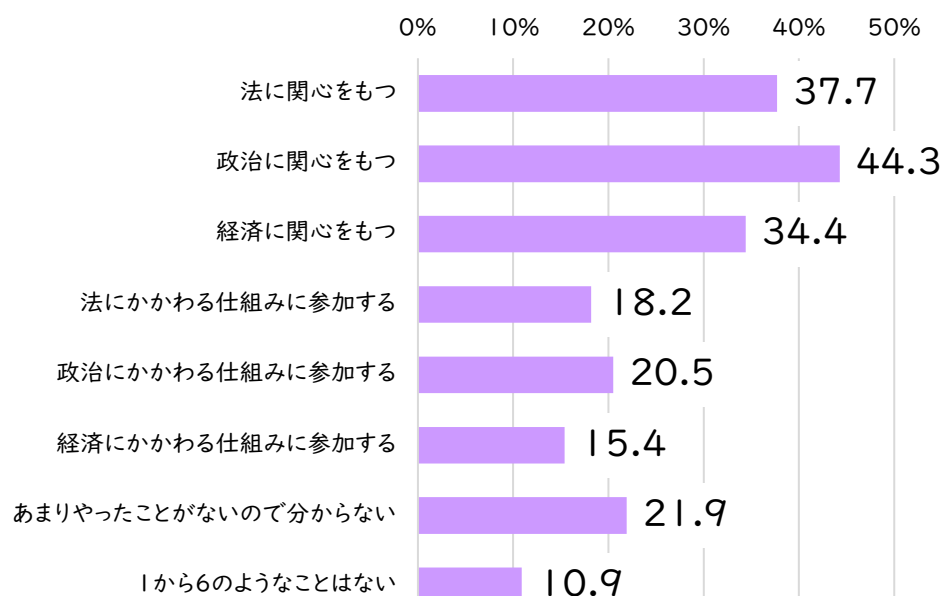
選挙権年齢、成年年齢、裁判員年齢の満18歳以上への引下げに伴い、どのような指導の工夫をしているか【教師質問】



「公共」の学習をして、見学したり、地域や現実社会で働く人に話を聞いたりしてみたいと思った【生徒質問】

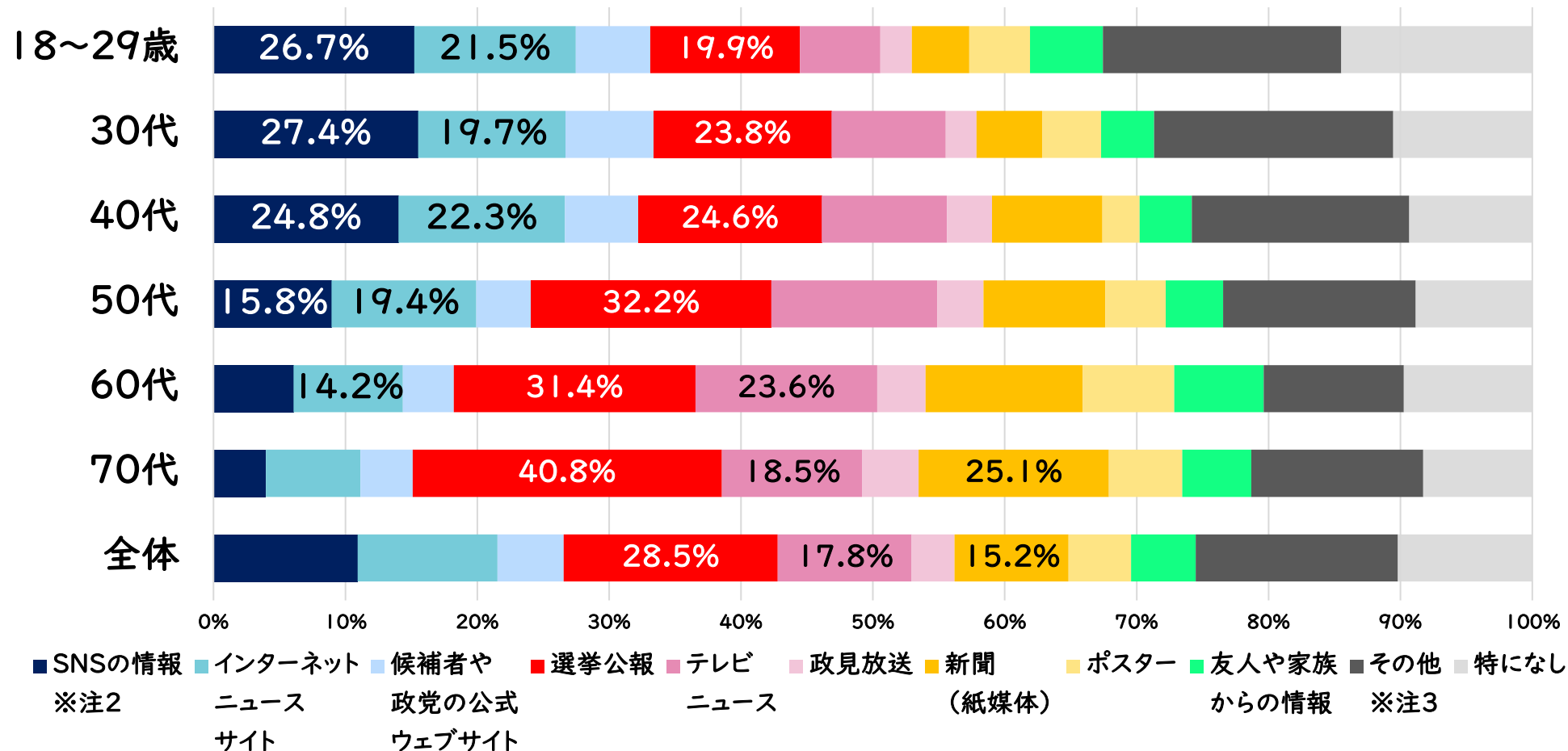


「公共」の授業で、模擬選挙や模擬裁判など、模擬的な活動を行うことで、次のことが大切だと考えるようになりましたか【生徒質問】



◆ 若い世代は投票行動に影響を与えた情報媒体として「SNSの情報」をあげている

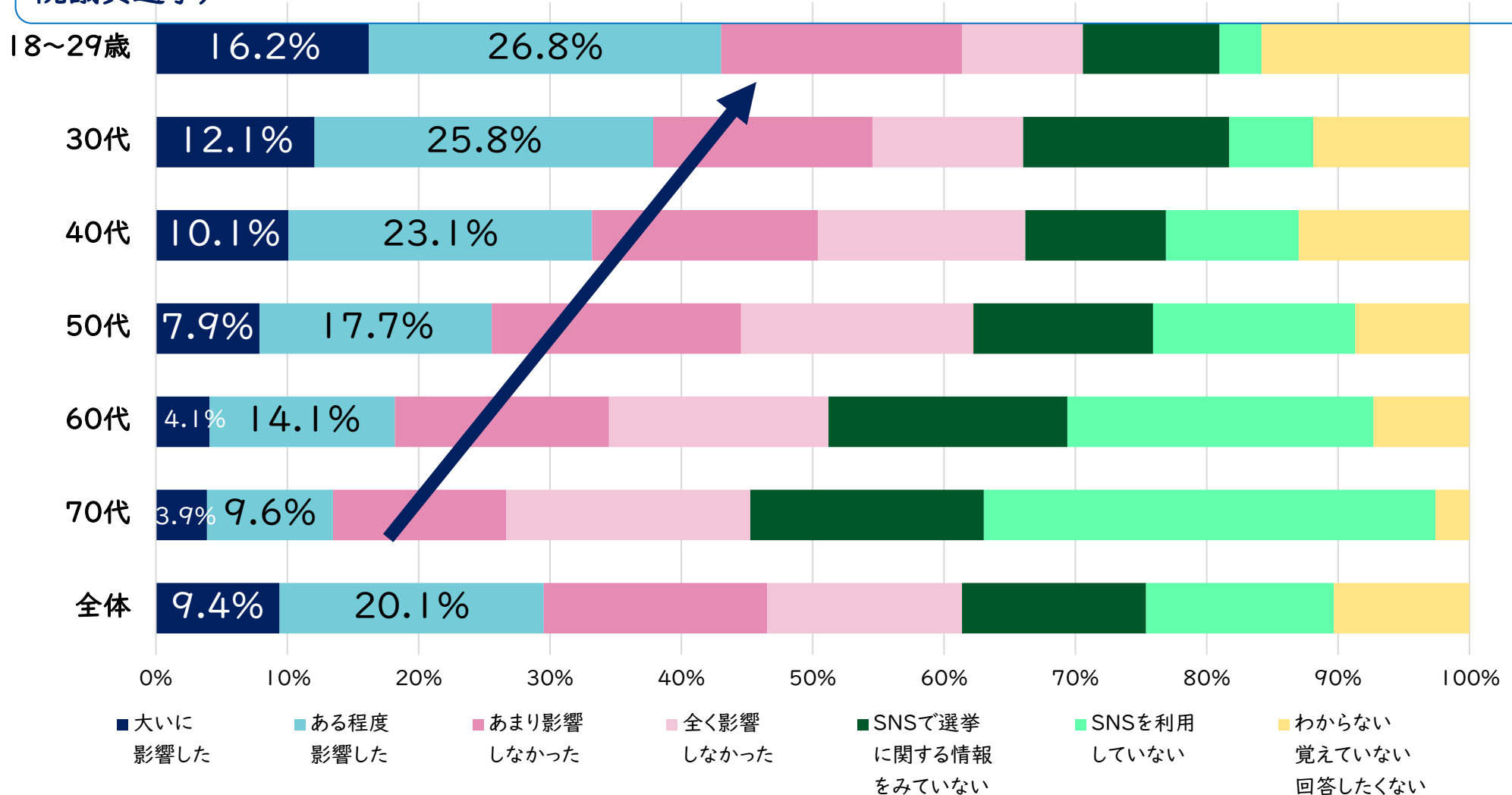
あなたの投票行動に影響した情報媒体について教えてください。(2025年6月都議会議員選挙)



出典：(株)日本総合研究所未来価値研究所政治人材バンクプロジェクトが2025年8月19日に公表した「【都議会議員選挙・参議院選挙2025】有権者アンケート調査結果 東京都議会議員選挙（2025年6月22日投開票）、参議院議員通常選挙（2025年7月20日投開票）への選挙権を有した東京都に在住する18歳～79歳までの男女3,000人を対象
 注1：投票行動に影響した情報媒体については、回答者は最大3つまで複数回答している場合がある。
 注2：「SNSの情報※注3」については、「候補者のSNS(X、Instagramなど)」と「候補者発信以外のSNSの情報」を含めたもの
 注3：「その他」については、「ポスティングのチラシ」「候補者マッチングサイト」「街頭演説」「選挙カーでの演説」「候補者・政党による討論会」「その他」を含めたもの

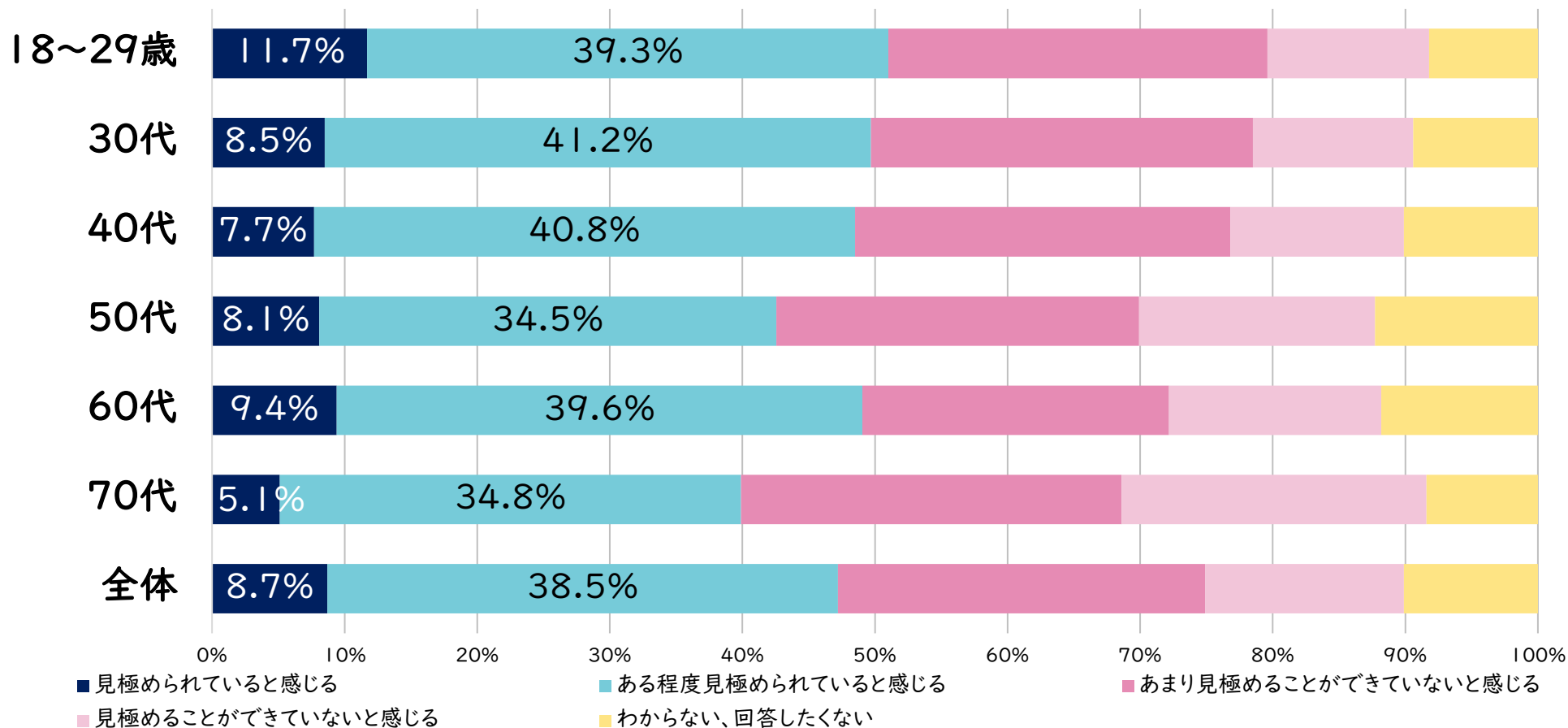
◆ 若い世代ほどSNSの情報が投票先に影響を与えたと回答している

SNS (X、Instagramなど) で見た情報は投票行動や投票先の決定に影響を与えましたか (2025年7月参議院議員選挙)



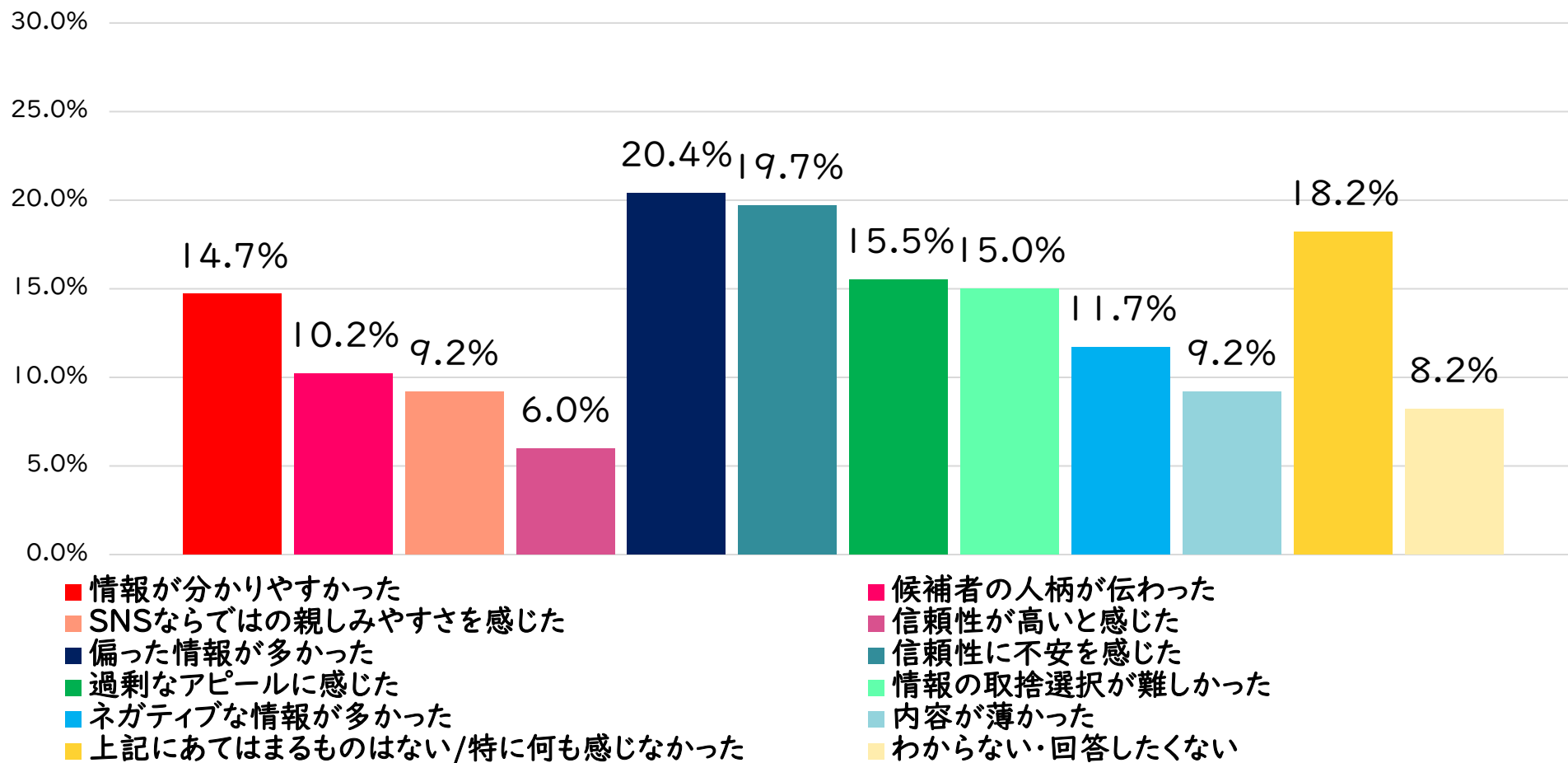
◆ SNSの情報についての正確性を見極められると回答している者は半数程度

SNSで流れてくる「政治に関する第三者の投稿・情報」について、あなたはどの程度「正確な情報かどうか」を見極められていると感じますか



◆ 候補者や政党のSNS上での発信内容について、情報の分かりやすさや信頼性の高さなど、肯定的に捉える人に比べて、情報の偏りや信頼性に不安を感じている人の割合が多い

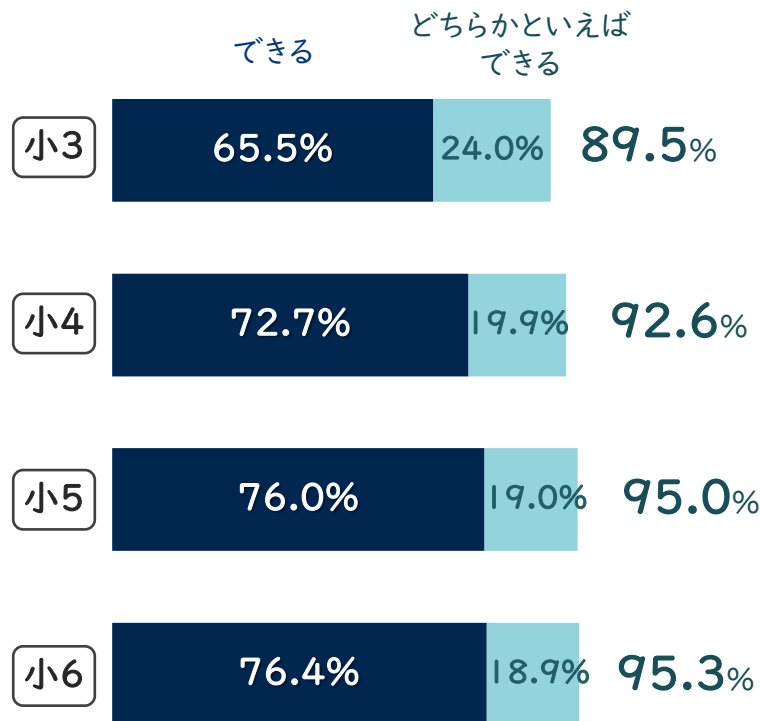
SNS上で候補者や政党の発信内容について、どのように感じましたか



出典：(株)日本総合研究所未来価値研究所政治人材バンクプロジェクトが2025年8月19日に公表した「【都議会議員選挙・参議院選挙2025】有権者アンケート調査結果
東京都議会議員選挙（2025年6月22日投開票）、参議院議員通常選挙（2025年7月20日投開票）への選挙権を有した東京都に在住する18歳～79歳までの男女3,000人を対象

- ◆ コンピュータを使うことができると回答した児童の割合は全学年で90%程度
- ◆ 使用場面、役立った場面ともに、「調べる場面」が一番高い

パソコンやタブレットなどコンピュータを使うことはできますか。



どんな場面で使いましたか。あてはまるものをすべて選んでください。

	調べる場面	話し合う場面	自分の考えを書く場面	調べたことをまとめる場面	授業の感想を書く場面	自分の学習をふり返る場面	その他
小3	83.7%	24.7%	37.0%	33.8%	23.6%	22.2%	7.8%
小4	89.8%	28.9%	47.5%	49.6%	34.1%	26.3%	6.4%
小5	93.6%	33.6%	57.3%	59.8%	39.4%	29.6%	6.0%
小6	94.7%	38.3%	61.2%	65.7%	40.9%	30.9%	5.4%

どんな場面で役立ちましたか。あてはまるものをすべて選んでください。

	調べる場面	話し合う場面	自分の考えを書く場面	調べたことをまとめる場面	ふり返りを 書く場面	自分の学習をふり返る場面	その他	役だったことはない
小4	84.6%	29.9%	40.9%	45.8%	28.3%	23.9%	2.6%	4.1%
小5	89.6%	34.8%	48.5%	54.8%	31.2%	26.3%	2.2%	2.4%
小6	90.8%	36.4%	48.5%	58.8%	30.3%	25.3%	2.6%	1.9%

(出典) 令和4年度小学校学習指導要領実施状況調査より

※各回答の数値は、小数第1位までの概数で表示。肯定的な回答を求める際は、小数第2位以下も含めて計算するため、それぞれの数値は一致しない場合がある。

- ◆ 「調べる」場面での活用が全科目を通して最も高く、「自分の学習をふり返る」、「自分の考えを発表する」場面での活用は比較的低い割合

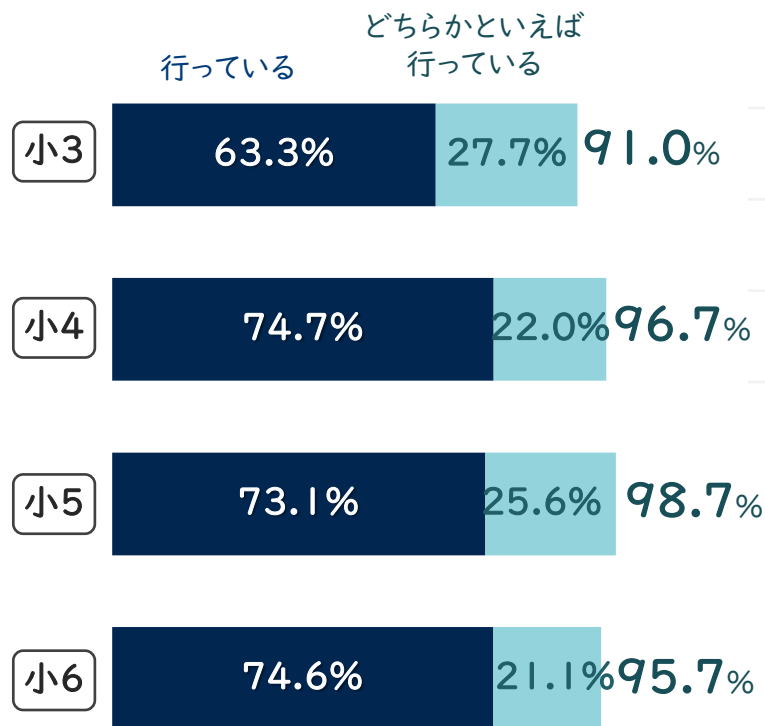
どんな場面でパソコンやタブレットなどコンピュータを活用しましたか。当てはまるものをすべて選んでください。

	調べる	話し合う	自分の考え を書く	調べたこと をまとめる	授業の感想 を書く	自分の学習 をふり返る	自分の考え を発表する	その他	使ったことは ない
地理 総合	68.7%	25.4%	25.6%	31.5%	15.3%	12.4%		3.3%	19.6%
歴史 総合	58.3%	16.6%	22.9%	26.1%		11.3%	12.2%	1.4%	24.4%
公共	58.6%	23.7%	27.1%	27.6%		13.6%	15.2%	3.5%	24.9%

※地理総合では「「地理総合」の授業で「パソコンやタブレットなどコンピューターを使うこと」について教えてください。どんな場面で使いましたか。当てはまるものを全て選んでください」、歴史総合では「「歴史総合」の授業で、パソコンやタブレットなどのICT機器をどのような場面で使いましたか。当てはまるものを全て選んでください」、公共では「「公共」の授業で、どんな場面でパソコンやタブレットなどコンピューターを使いましたか。当てはまるものを全て選んでください」と聞いている。

- ◆ タブレットなどコンピュータを活用した授業の実施状況は全学年で90%以上
- ◆ 使用場面で特に多いのは「共通の資料を大きく提示する」、「インターネットで自由に調べる」
- ◆ 一方、行わない理由としては、小3・5で「準備や操作に時間がかかるから」、小6で「授業の進み方が遅くなるから」が多い

タブレットなどコンピュータを活用した授業を行っていますか。



どんな場面で使いましたか。当てはまるものを全て選んでください。

	共通の資料を大きく提示する場面	資料を児童に配布(送信)する場面	インターネットで自由に調べる場面	児童が話し合う場面	児童の考えを一覧する場面	学習したことを図や作品にまとめる場面	オンラインで遠隔地と交流する場面	学習履歴を保存する場面
小3	87.4%	63.8%	86.9%	39.4%	56.3%	39.9%	10.8%	20.6%
小4	86.5%	69.7%	95.5%	44.0%	60.3%	57.5%	15.3%	22.9%
小5	86.1%	68.7%	95.7%	49.7%	57.7%	58.5%	17.9%	20.7%
小6	85.2%	66.9%	95.7%	52.6%	60.7%	53.9%	7.5%	19.1%

なぜ、行わないのですか。(もっともふさわしいものを1つ)

準備や操作に時間がかかるから	準備や操作が難しいから	学校の環境が整わないから	授業の進み方が遅くなるから
42.9%	21.4%	11.9%	23.8%

※3学年から6学年の教師の人数を合計して割合を算出。

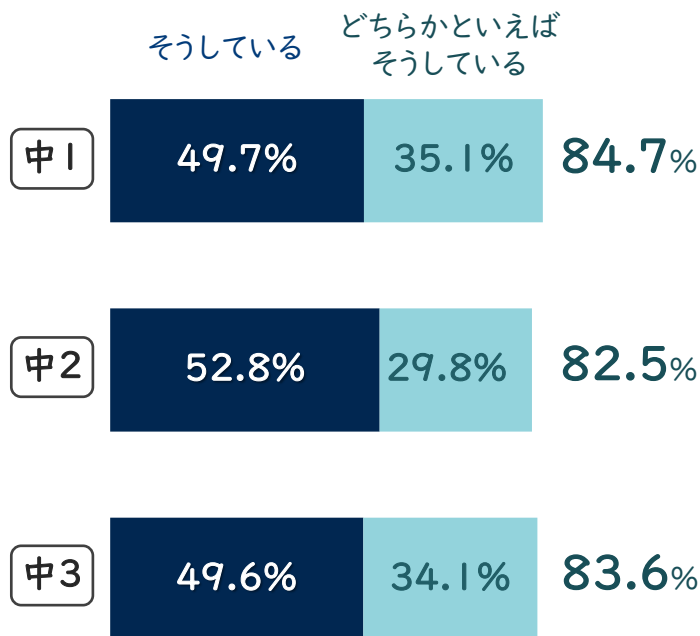
【教師質問】コンピュータを活用した授業の実施状況について

中学校・社会科

速報版

- ◆ 授業でのコンピュータや情報通信ネットワークの活用状況に関する質問項目に対し、肯定的な回答割合が全学年で80%以上
- ◆ 使用場面で特に多いのは「共通の資料を大きく提示する」、「インターネットで自由に調べる場面」
- ◆ 一方、行わない理由としては、「準備や操作に時間がかかるから」、「授業の進み方が遅くなるから」が多い

授業でタブレットなどコンピュータや情報通信ネットワークを活用していますか。



どんな場面で使いましたか。当てはまるものを全て選んでください。

	共通の資料を大きく提示する場面	資料を生徒に配布(送信)する場面	インターネットで自由に調べる場面	生徒が話し合う場面	生徒の考えを一覧する場面	学習したことを図や作品にまとめる場面	オンラインで遠隔地と交流する場面	学習履歴を保存する場面	その他
中1	87.2%	54.1%	76.1%	53.7%	47.5%	35.5%	7.5%	16.6%	1.1%
中2	90.3%	68.1%	77.5%	48.3%	49.4%	35.8%	5.9%	12.2%	1.1%
中3	90.8%	65.9%	83.7%	60.8%	59.6%	38.0%	8.5%	13.3%	1.1%

なぜ、行っていないのですか。(最もふさわしいものを1つ選んでください。)

	準備や操作に時間がかかるから	準備や操作が難しいから	学校の環境が整わないから	授業の進み方が遅くなるから	授業で活用する場面がわからないから	その他
中1	39.4%	11.6%	5.5%	38.1%		5.4%
中2	32.6%	11.0%	6.3%	41.7%	3.9%	4.5%
中3	23.9%	13.0%	17.3%	39.0%	5.3%	1.5%

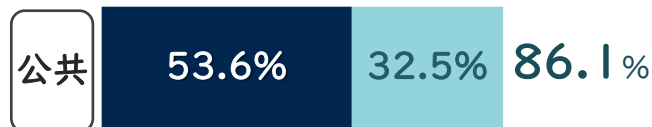
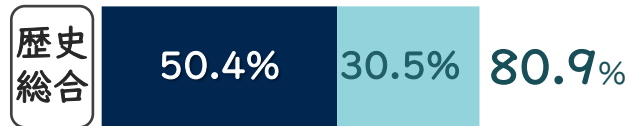
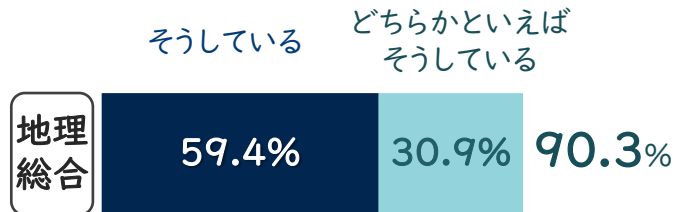
(出典) 令和5年度中学校学習指導要領実施状況調査より(暫定値)

※中学校生徒には、コンピュータの活用状況に関する質問を実施していないため、教師質問のデータのみを提示する。

※各回答の数値は、小数第1位までの概数で表示。肯定的な回答を求める際は、小数第2位以下も含めて計算するため、それぞれの数値は一致しない場合がある。

- ◆ 授業でのコンピュータや情報通信ネットワークの活用状況に関する質問項目に対し、肯定的な回答割合が80%以上
- ◆ 使用場面で特に多いのは「共通の資料を大きく提示する」、「インターネットで自由に調べる場面」
- ◆ 一方、行わない理由としては「授業の進み方が遅くなるから」が多い

授業でパソコンやタブレットなどを活用している教師の割合



※地理総合では「授業でパソコンやタブレットなどコンピュータを活用していますか。」、歴史総合では「授業でパソコンやタブレットなどのICT機器を活用していますか。」、公共では「授業でパソコンやタブレットなどコンピュータ(や情報通信ネットワーク)を活用していますか。」と聞いている。

どんな場面で使いましたか。当てはまるものを全て選んでください。

	共通の資料を大きく提示する場面	資料を生徒に配布(送信)する場面	インターネットで自由に調べる場面	生徒が話し合う場面	生徒の考えを一覧する場面	学習したことを図や作品にまとめる場面	生徒が発表する場面	オンラインで遠隔地と交流する場面	学習履歴を保存する場面	その他
地理総合	82.7%	49.7%	77.5%	33.6%	29.2%	30.8%		3.6%	11.9%	2.9%
歴史総合	82.4%	64.1%	70.3%	42.0%	32.1%	25.4%		3.9%	11.8%	0.3%
公共	83.7%	59.5%	72.2%	39.7%	37.2%	21.7%	34.4%	3.5%	9.0%	0.7%

なぜ、行っていないのですか。(最もふさわしくないものを1つ選んでください。)

	準備や操作に時間がかかるから	準備や操作が難しいから	学校の環境が整わないから	授業の進み方が遅くなるから	授業で活用する場面が分からないから	その他
地理総合	3.4%	1.9%	4.2%	4.3%		1.6%
歴史総合	24.0%	9.8%	8.9%	44.0%	1.7%	11.6%
公共	11.5%	25.5%	21.2%	26.2%		15.6%

(出典) 令和6年度高等学校学習指導要領実施状況調査より(暫定値)

※各回答の数値は、小数第1位までの概数で表示。肯定的な回答を求める際は、小数第2位以下も含めて計算するため、それぞれの数値は一致しない場合がある。

◆ デジタル時代の主権者教育の観点が大切である

① 子どもたちは常時ネット接続

● ネット利用時間の1日平均 (※1)

小学生	中学生	高校生
約3h44m	約5h02m	約6h19m

● 子供専用のスマホ保有率 (※2 2024)

小学生	中学生	高校生
72.0%	95.3%	99.1%

② 多様な情報から遮断されるリスク

● 検索結果・SNS、表示情報のパーソナライズ

✓ 日本は「知っている」：44.7% 他国は80%～90%

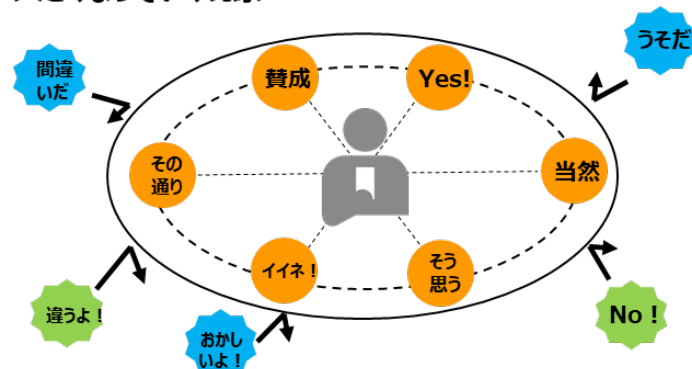
フィルターバブル現象

自分の好む情報「だけ」に囲まれ、
多様な意見から隔離されやすくなる現象。



エコーチェンバー現象

同じような意見が、閉ざされた空間の中で反響して
大きくなっていく現象



【出所①】

※1 内閣府 令和6年度 青少年のインターネット利用環境実態調査 調査結果。ネットを利用すると回答した青少年の平均利用時間は、前年と比べ約5分増加し、約5時間2分。目的ごとの平均利用時間は、趣味・娯楽が最も多く、約3時間01分

※2 ※1をもとに内閣府で作成。平成26年度より調査方法等を変更したため、平成25年度以前の調査結果を直接比較ができないことに留意。「小学生」の調査対象は、満10歳以上

【出所②】

令和4年度総務省「ICT 基盤の高度化とデジタルデータ及び情報の流通に関する調査研究の請負」報告書「検索結果やSNS、動画、音楽等、表示される情報があなたに最適化(パーソナライズ)されていることに対する認識」

◆ オンライン情報の信頼性を確認する割合が他国と比べ圧倒的に低い

① 情報の発信源を確認 **19%**
(米34%、中35%、独27%)

その他の方法で真偽を確認 **11%**
(米33%、中28%、独23%)

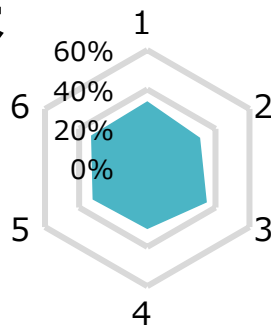
② SNSや動画で他の意見や反応を調べる **21%**
(米31%、中39%、独26%)

⑤ 専門家やファクトチェック機関による検証結果を確認 **10%**
(米32%、中36%、独23%)

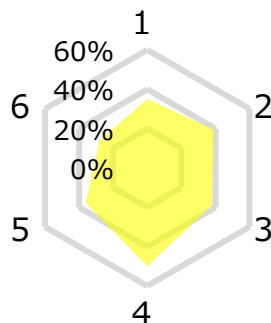
③ 複数のニュース媒体による報道を比較 **19%**
(米35%、中38%、独34%)

④ 政府等が公表する情報を確認 **17%**
(米31%、中50%、独28%)

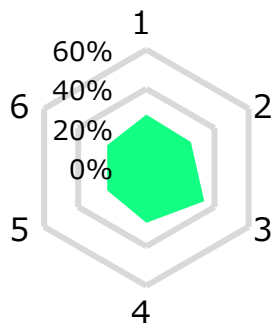
米国



中国



ドイツ



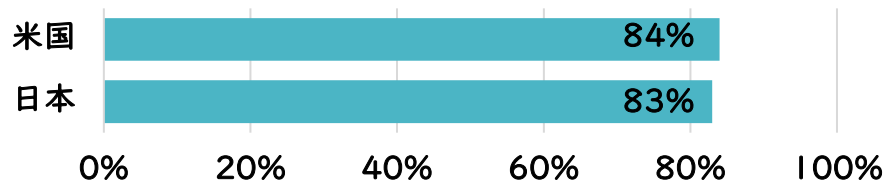
【出典】「国内外における最新の情報通信技術の研究開発及び デジタル活用の動向に関する調査研究の請負成果報告書」(2025(令和 7)年 3 月 総務省情報流通行政局情報通信政策課情報通信経済室)

※アンケート対象:各対象国の居住者及び、20 代から 60 代の男女を対象 日本N=1030 米国、中国、ドイツ N=520

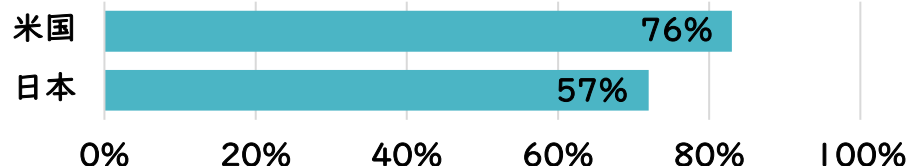
※オンライン情報の信頼性の確認方法:「あなたはオンライン上で最新のニュースを知りたい時に、どのように情報の信頼性を確かめますか」の問いに「ほぼ全てのニュースについて行う」あるいは「よく行う」と回答した割合

◆ 日本、米国ともに、多くの人がオンラインコンテンツについて改ざんや誤情報になることに懸念をいだいていたり、有害なディープフェイクが選挙に影響を与えたりと考えている

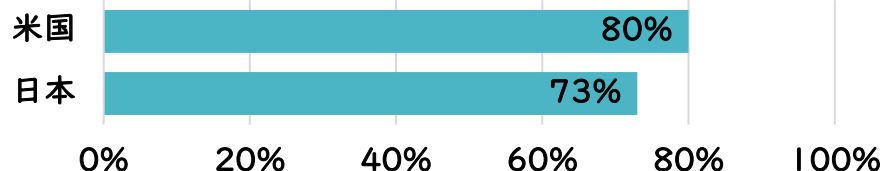
「オンラインで接するコンテンツが改ざんされやすく誤情報になることに懸念を表明」と回答した割合



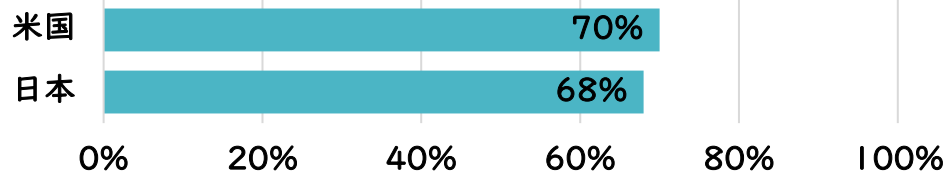
「政府とテクノロジー企業が協力して、ディープフェイクや誤情報から選挙の公正性を守るべき」と回答した割合



「誤情報や有害なディープフェイクが選挙に影響を与えると信じている」と回答した割合



「オンラインで接するコンテンツが信頼できるかどうかを確認することが難しくなっている」と回答した割合



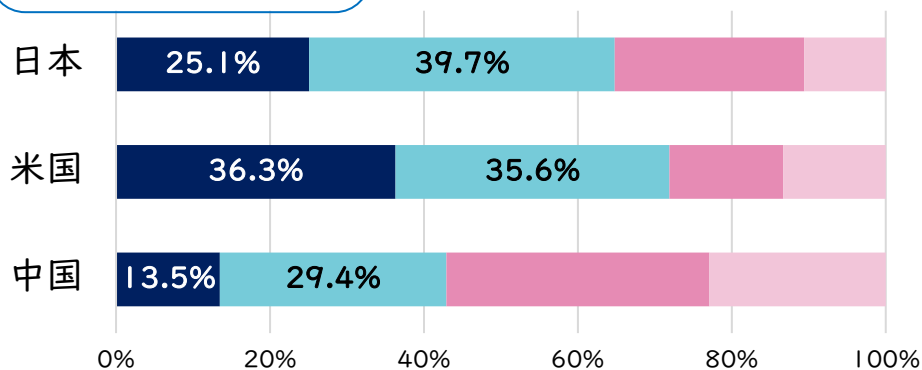
出典: Adobe

2024年6月25日に公表した調査。米国、日本、欧州を含む世界6,000人以上の消費者を対象に、インターネット上でフェイク情報に遭遇した経験や、生成AIがもたらす影響への懸念などについて、グローバル調査を実施

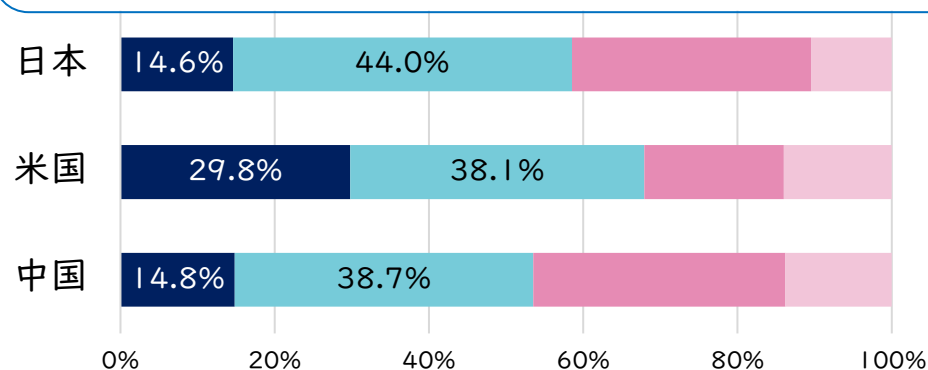
※米国2,012人、日本1,023人、英国2,002人、フランス1,043人、ドイツ1,020人の18歳以上の回答者を対象に調査

◆ 生成 A I に対して「こわい」というネガティブなイメージを持つ一方で、「社会に対してよい影響がある」というポジティブなイメージも持っている

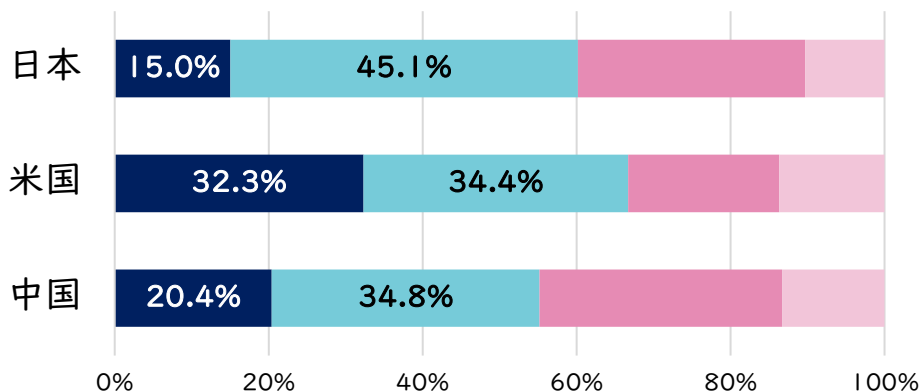
なんとなくこわい



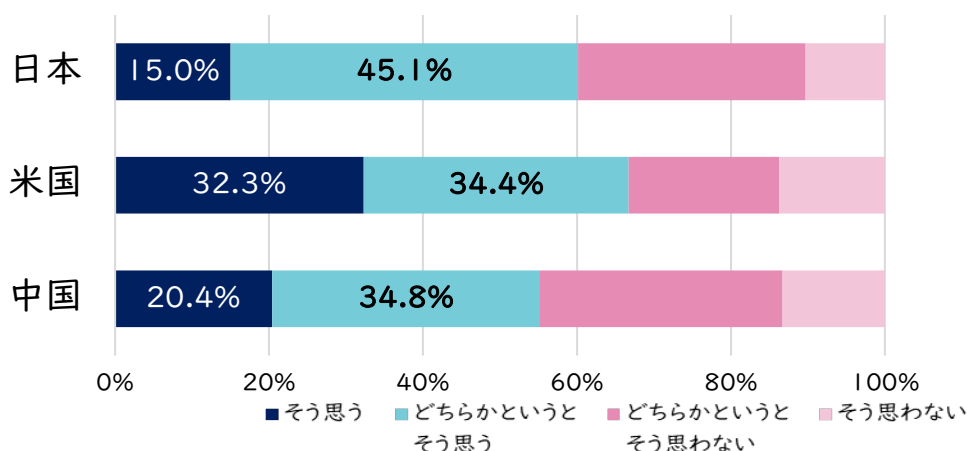
自分の意思決定が操作されてしまうなんとなくこわい



社会における多様な意見・価値観が失われてしまう

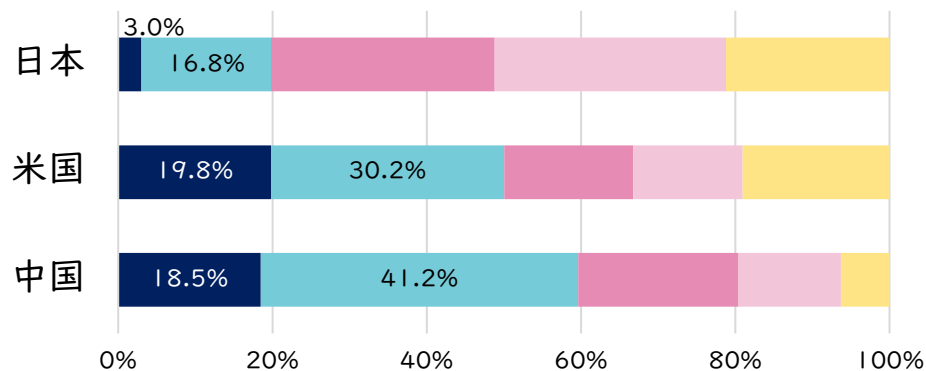


社会に対してよい影響がある

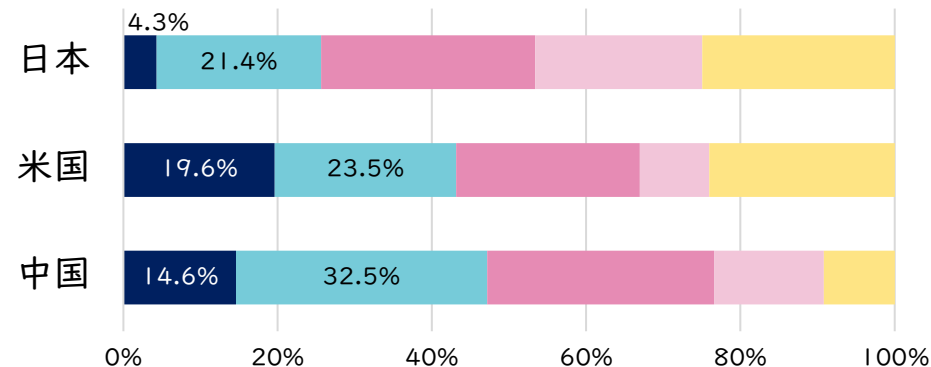


◆ 生成 AI について、日本は米国や中国に比べて慎重にとらえている

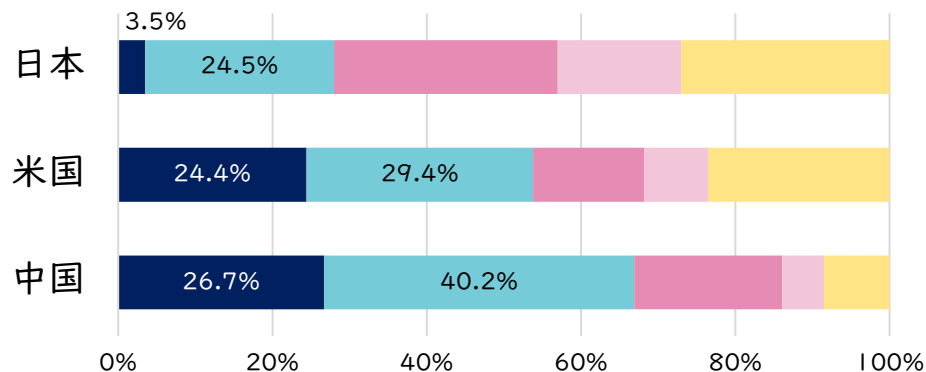
質問に対する生成AIの回答はいつも正確である



質問に対する生成AIの回答はいつも同一である



質問に対する生成AIの回答は根拠がはっきりしている



■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない ■ わからない

小・中学校、高等学校における地域調査（フィールドワークや聞き取り調査等）の現状と課題

◆ 特に中学校における地域調査の実施率が低い

小学校（教師）

観察や調査・見学、体験を取り入れた授業を行っていますか

※小学校学習指導要領では、「地域の実態を生かし、（略）観察や見学、聞き取りなどの調査活動を含む具体的な体験を伴う学習（略）の一層の充実を図ること」とされている。

	そうしている・どちらかといえばそうしているの割合	
学年	H24	R4
第3学年	-	94.8
第4学年	88.8	82.5
第5学年	62.2	69.1
第6学年	54.4	61.2

中学校（教師）

地理的分野において、フィールドワークや聞き取り調査などを取り入れて指導を行っていますか。

※中学校学習指導要領では、「地域調査に当たっては、（略）観察や調査を指導計画に位置付けて実施すること」とされている。

	行なっている・どちらかといえば行っているの割合	
学年	H25	R5
第1学年	7.6	12.4
第2学年	10.3	10.3

高等学校（教師）

地域調査の学習の際に、フィールドワークや聞き取り調査などの野外調査を取り入れて指導を行っていますか。

※高等学校学習指導要領では、「地域調査を実施し、生徒が適切にその方法を身に付けるよう工夫すること」とされている。

	そうしている・わりとそうであるの割合	
科目	H27	R6
地理A	4.1	-
地理B	8.2	-
地理総合	-	19.6

（出典）学習指導要領実施状況調査より（小：確定値、中・高：暫定値）

※設問文等については、前回調査と必ずしも文言が一致しないことに留意する必要がある。

※肯定的な回答を求める際は、小数第2位以下も含めて計算をするため、それぞれの数値は一致しない場合がある。

◆ 歴史総合等の授業で学校内外の施設を活用している割合は3割未満に止まっている

学校内外の施設（図書館、博物館、郷土資料館等）の活用

高等学校学習指導要領実施状況調査 教師用質問調査（暫定値）

「観察や調査・見学など体験を取り入れた授業を行っている。」

➡「そうしている」「どちらかといえばそうしている」の合計 **26.2%**

「博物館や郷土資料館の活用など、地域の素材や人材を活用した授業を行っている。」

➡「そうしている」「どちらかといえばそうしている」の合計 **27.8%**

高等学校学習指導要領実施状況調査 生徒用質問調査（暫定値）

「「歴史総合」の学習で、学校の図書館などを活用している」

➡「そうしている」「どちらかといえばそうしている」の合計 **25.9%**

「「歴史総合」の学習で、博物館や郷土資料館などを活用している」

➡「そうしている」「どちらかといえばそうしている」の合計 **25.4%**

デジタルアーカイブの活用例



・デジタルアーカイブの資料を操作して観察し、友達と交流しながら、資料から当時の変化を読み取る活動。



[横浜開港資料館デジタルアーカイブ](#)



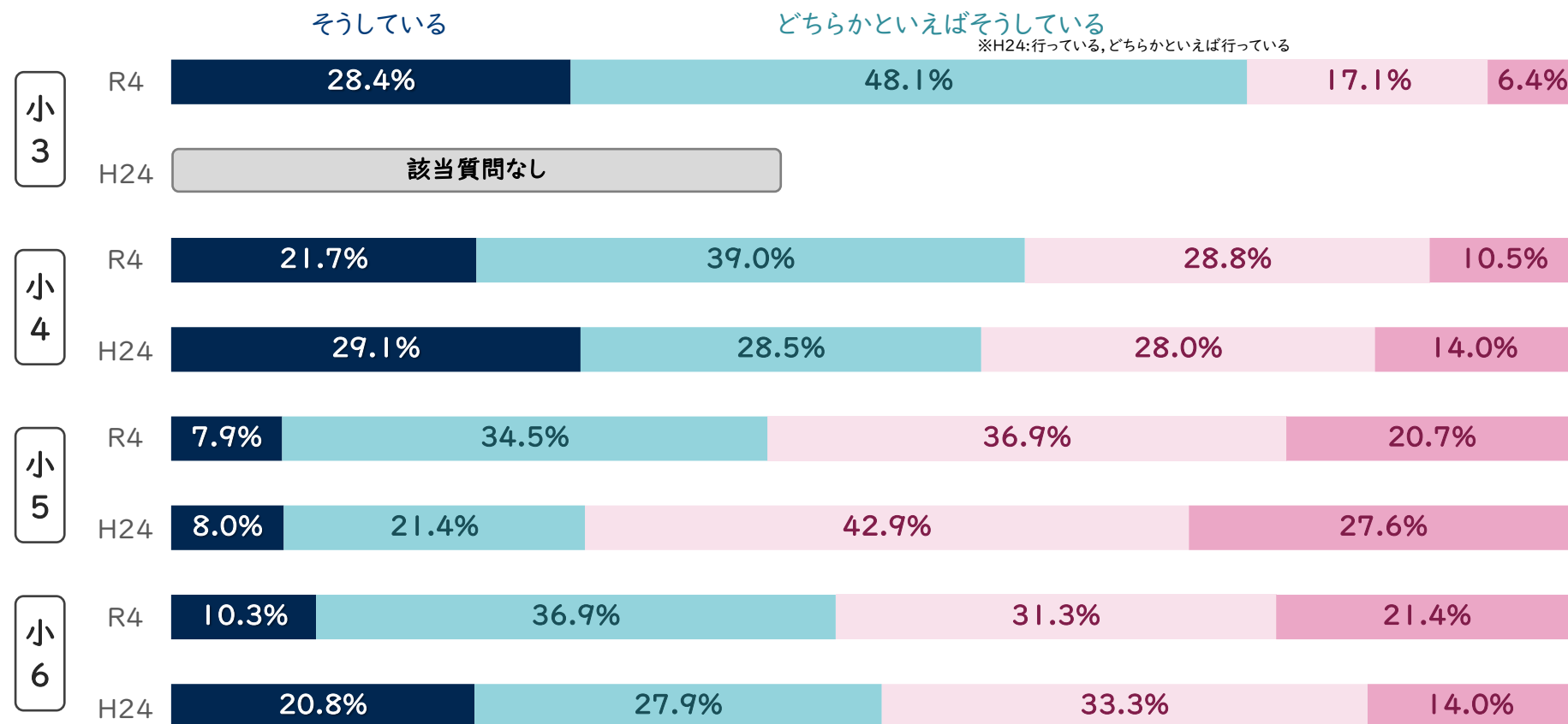
[神奈川県立歴史博物館デジタルアーカイブ](#)

（歴史の学習を）学校の授業のみで終わらせずに空間的には教室の外へ、時間的には卒業後まで継続させ、将来にわたって学び続ける機会や方法についての認識や姿勢を育み、生涯学習へと発展させていくことが大切である。

（高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 地理歴史編、p.189、266、348）

- ◆ 博物館や郷土資料館などを活用した授業は、肯定的な回答が小3で76.5%、小4で60.7%だが、小5・小6では50%を下回っている
- ◆ 前回調査と比較して、小5については博物館や郷土資料館などの施設を活用した授業の実施が10ポイント程度増加している

(R4・H24) 博物館や郷土資料館などの施設を活用した授業を行っていますか

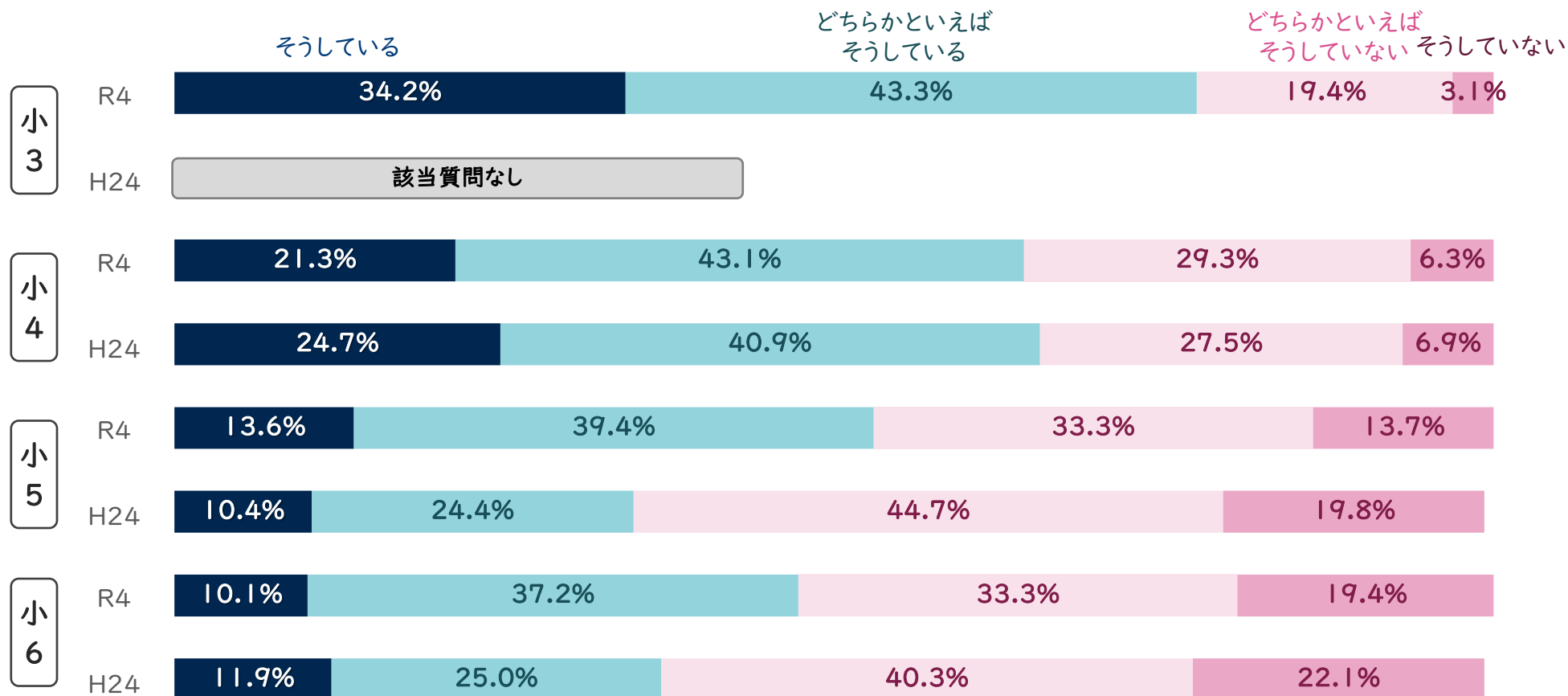


(出典) 令和4年度小学校学習指導要領実施状況調査より

※設問項目ごとの割合は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位までの数値で表示している。

- ◆ 地域の素材や人材を生かした授業については、小3で肯定的な回答が77.5%だが、学年が上がるにつれて下がる傾向がある
- ◆ 地域の素材や人材を生かした授業について、小6では全体の50%以下となっており、課題がある

(R4・H24) 地域の素材や人材を生かした授業を行っていますか

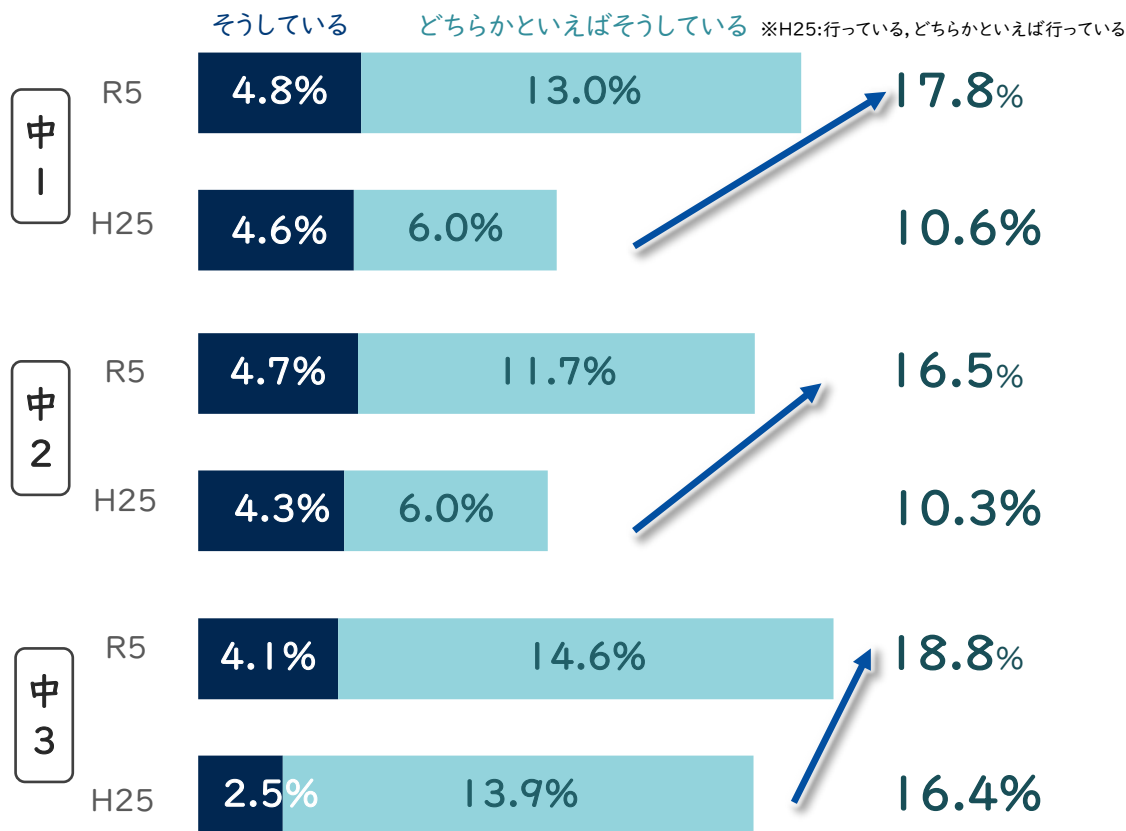


(出典) 令和4年度小学校学習指導要領実施状況調査より

※設問項目ごとの割合は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位までの数値で表示している。

- ◆ 前回調査と比較して、中1・中2については博物館や郷土資料館の活用が6ポイント程度増加している
- ◆ 博物館や郷土資料館の活用など、地域の素材や人材を活用した授業については、全体で20%以下となっており、引き続き課題があると考えられる（歴史的分野）

(R5・H25) 博物館や郷土資料館の活用など、地域の素材や人材を活用した授業を行っていますか



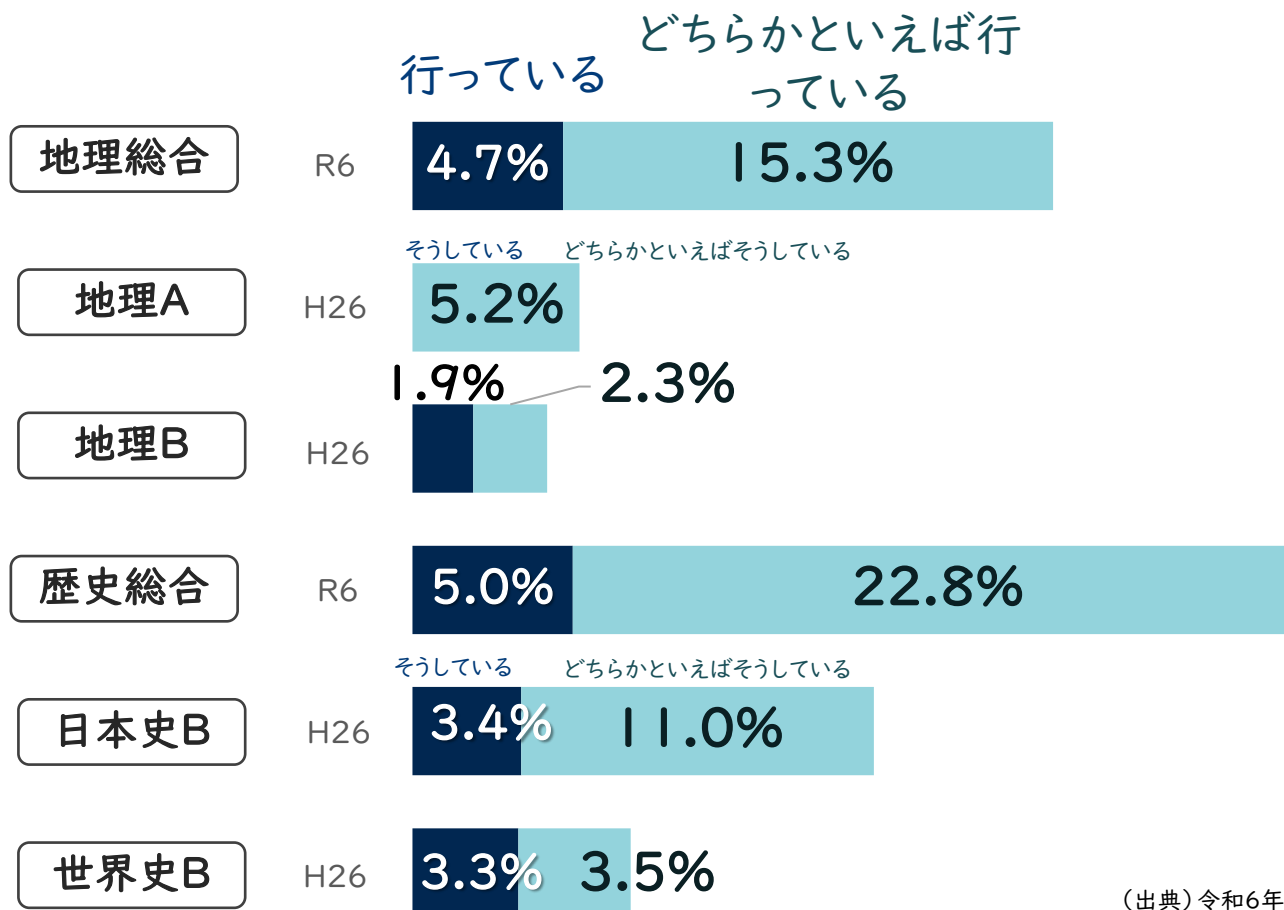
(出典) 令和5年度中学校学習指導要領実施状況調査より(暫定値)

※各回答の数値は、小数第1位までの概数で表示。肯定的な回答を求める際は、小数第2位以下も含めて計算するため、それぞれの数値は一致しない場合がある。

◆ 博物館や郷土資料館の活用など、地域の素材や人材を活用した授業の実施については、前回調査より10ポイント以上増加しているが、地理総合、歴史総合ではそれぞれ全体の20%、28%程度にとどまっている

(R6) 博物館や郷土資料館の活用など、地域の素材や人材を活用した授業を行っている

(H26) 博物館や美術館、郷土資料館などを活用した授業を行っている



(出典) 令和6年度高等学校学習指導要領実施状況調査より(暫定値)

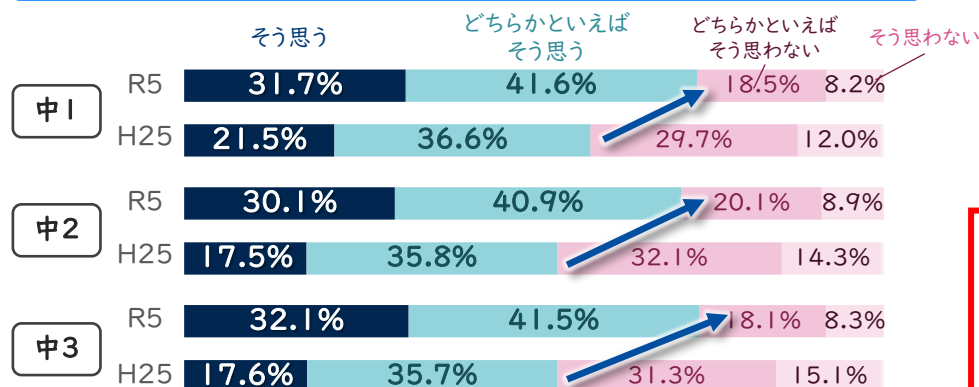
※各回答の数値は、小数第1位までの概数で表示。 34

【生徒質問】問題解決的な学習への意識について

速報版

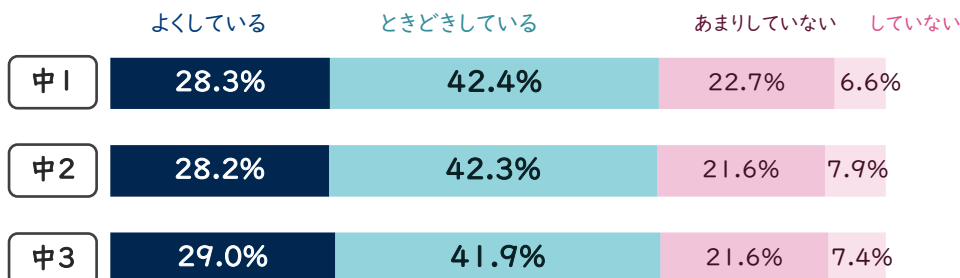
- ◆ 学習課題を設定し、その解決のためにみんなで調べたり考えたりすることが好きな生徒の割合は、全学年で前回調査を上回った
- ◆ 学習課題の解決に向けて教科書等を使って必要な情報を粘り強く収集していると肯定的な回答をした割合は約70%
- ◆ 友達の意見に対して自分の考えをもつようにしている生徒は85%を超えている一方で、資料などから疑問を見つけたり問いを作ったりしている生徒や、資料を集めて調べることが好きな生徒の割合は60%前後

学習課題(問い)を設定して、その解決のためにみんなで調べたり考えたりすることは好きですか。

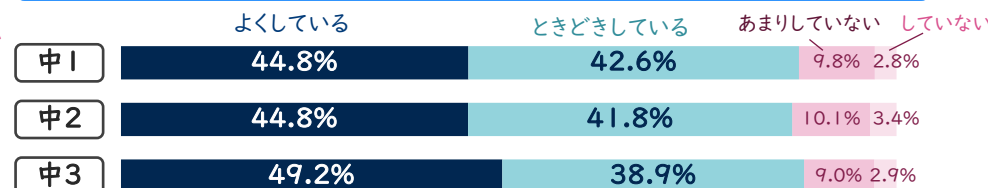


※前回調査(H25調査)では「社会科の授業で、学習課題を設定して、その解決のために調べたり考えたりすることは好きですか。」と聞いている。

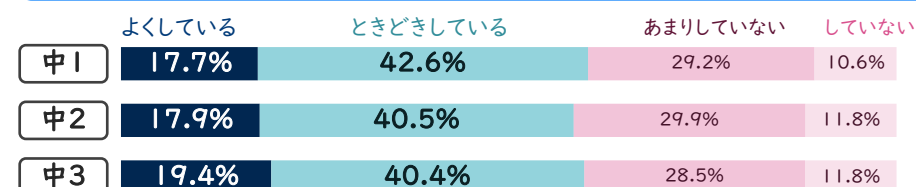
学習課題の解決に向けて、教科書や地図帳、資料集、インターネットなどを使って必要な情報を粘り強く収集していますか。



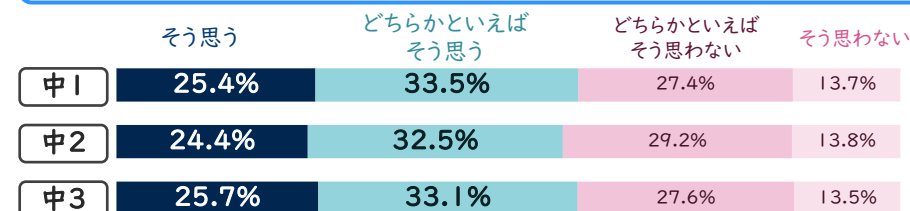
友だちの意見に対して、自分の考えをもつようにしていますか。



資料などから疑問を見つけたり問いをつくったりしていますか。



自分で資料を集めて調べることは好きですか。



(出典) 中学校学習指導要領実施状況調査より(暫定値)

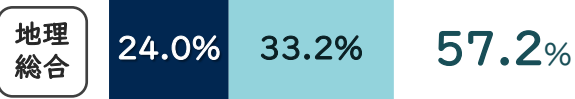
※調査方法や設問等については、前回調査と異なる場合があることに留意する必要がある。35

※設問項目ごとの割合は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位までの数値で表示している。

- ◆ 学習課題やテーマを決めて議論することが好きな生徒、議論している生徒は50%台にとどまる
- ◆ 議論することで「いろいろな人の考えがわかる」と回答した生徒の割合がいずれの科目も比較的高い
- ◆ 歴史総合において、「説明の仕方がわからない」と答えた生徒が比較的多い

学習課題（問い）やテーマを決めて、議論することは好きですか

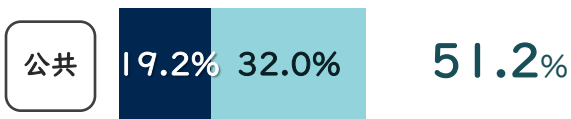
そう思う どちらかといえば思う



※地理総合では「先生や自分たちが学習課題（問い）やテーマを決めて、議論（話し合い）をすることは好きですか」と聞いており、歴史総合では「学習課題（問い）やテーマを設けて話し合う（グループで意見交換する）ことが好きだ」に対して当てはまるものを回答してもらう形式となっている。

学習課題（問い）やテーマを設定して、議論（話し合い）をしていますか。

よくしている ときどきしている



学習課題（問い）やテーマを決めて、議論することについて、どのような良さがありますか。（当てはまるものを全て選択してください）

	いろいろな人の考えが分かる	話すことが好き	自分の考えを話すことができる	社会の様子がよく分かる	みんなが活躍できる	自分の考えが深まる	新しいことを知ることができる	1から6のようない	あまりやったことがないので分からない
地理総合	61.8%	28.7%		19.3%	10.2%	37.0%	32.7%	10.9%	
歴史総合	69.1%		31.5%	18.9%	12.4%	39.4%	40.4%	3.1%	10.2%

「学習課題（問い）やテーマを設定して、議論（話し合い）をすること」について次のようなことはありますか。当てはまるものを全て選んでください。

	いろいろな人の考え方が分かる	社会の様子がよく分かる	互いの意見を認め合う	みんなが活躍できる	自分の意見がまとまる	他の人に説明することが楽しい	新たな問いを見いだす	時間が足りない	議論（話し合い）をする機会が少ない	1から9のようない
公共	53.4%	24.0%	32.4%	12.6%	18.1%	8.4%	16.1%	4.9%	14.6%	12.5%

学習課題（問い）やテーマを決めて、議論することについて、課題や難しさはありますか。（当てはまるものを全て選択してください）

	難しくて分からない	説明の仕方が分からない	言い合いのようになる	一部の人がだけが活躍する	考える時間が足りない	自分の意見がまとまらない	恥ずかしい	1から7のようない	あまりやったことがないので分からない
地理総合	22.5%	28.8%	9.1%	24.9%	17.8%	29.9%	12.3%	20.8%	
歴史総合	25.6%	42.9%	7.6%	22.3%	16.2%	31.5%	9.9%	7.4%	13.7%

（出典）令和6年度高等学校学習指導要領実施状況調査より（暫定値）

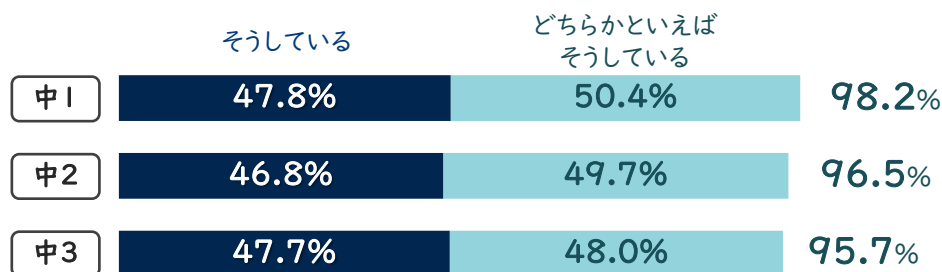
※各回答の数値は、小数第1位までの概数で表示。肯定的な回答を求める際は、小数第2位以下も含めて計算するため、それぞれの数値は一致しない場合がある。

【教師質問】課題解決的な授業・学習活動の実施状況について

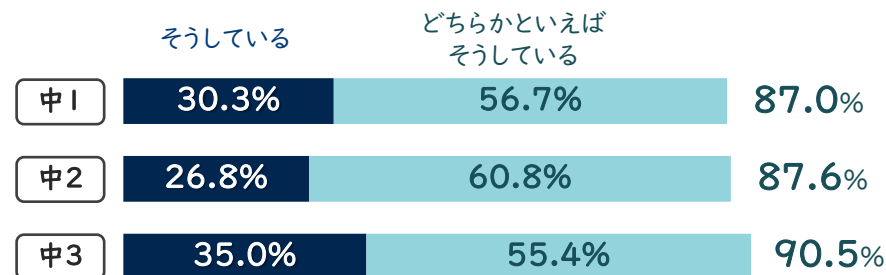
速報版

- ◆ 生徒の疑問を引き出すような資料提示の工夫をしている教師の指導を受けている生徒の割合は、全学年で90%を超えている
- ◆ 見方・考え方を働かせる課題を設定して追究する学習活動を実施している教師の指導を受けている生徒の割合は90%前後
また、課題解決的な学習を授業に取り入れている教師の指導を受けている生徒の割合は前回調査から上昇
- ◆ 学習のまとめや振り返りの際に図や文章で書かせる指導している教師の指導を受けている生徒の割合も前回調査から上昇

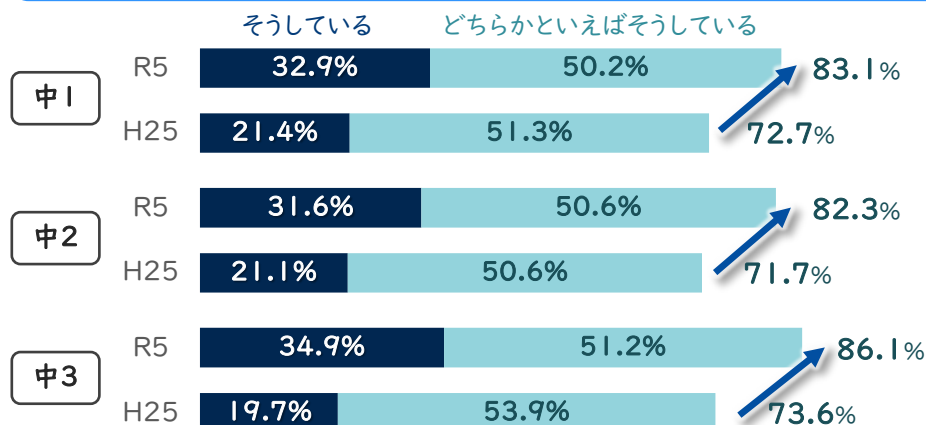
生徒の疑問を引き出すような資料提示の方法を工夫していますか。



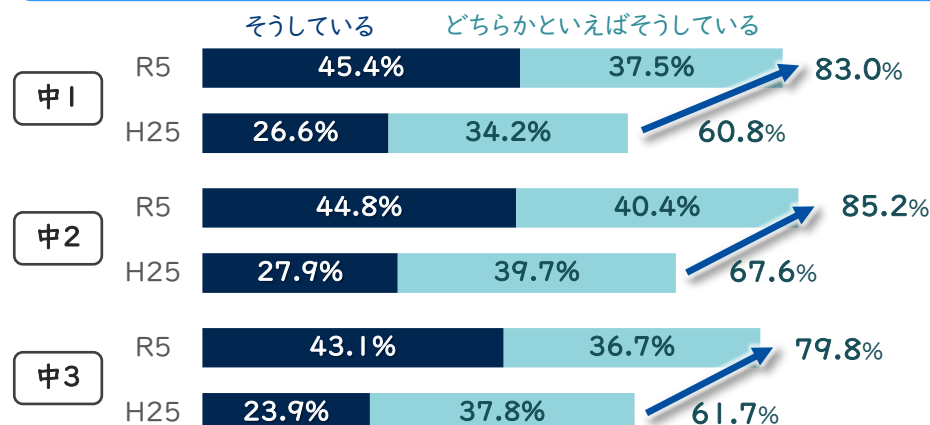
「見方・考え方」を働かせる課題(問い)を設定して追究する学習活動を実施していますか。



課題解決的な学習を取り入れた授業を行っていますか。



学習のまとめや振り返りを図や文章で書かせるよう指導していますか。



※各回答の数値は、小数第1位までの概数で表示。肯定的な回答を求める際は、小数第2位以下も含めて計算するため、それぞれの数値は一致しない場合がある。

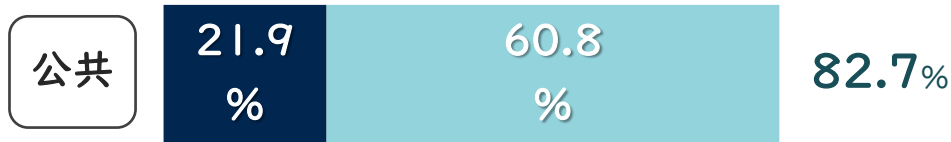
(出典) 中学校学習指導要領実施状況調査より(暫定値)
※調査方法や設問等については、前回調査と異なる場合があることに留意する必要がある。

- ◆ 学習課題（問い）を設定し、課題解決的な学習活動を取り入れている教師の指導を受けている生徒の割合は80%強である
一方で、生徒に学習課題（問い）を設定させて解決に向けて取り組む学習活動を取り入れている教師の指導を受けている生徒の割合は50%台にとどまる

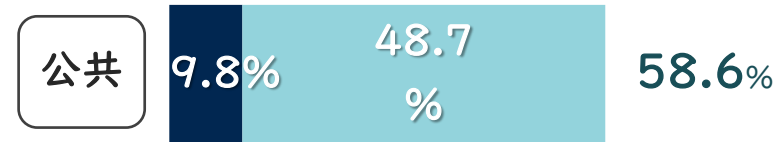
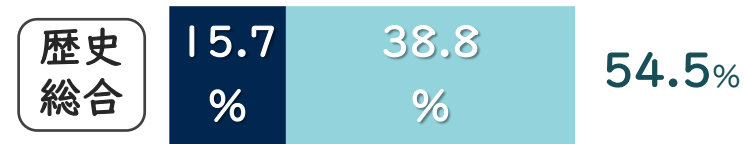
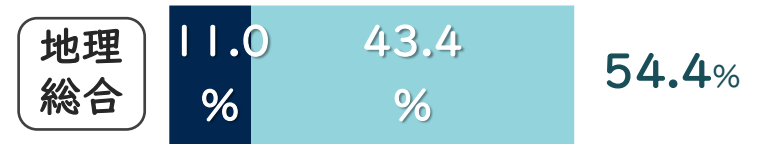
教師が学習課題（問い）を設定する、課題解決的な学習活動を授業に取り入れているか。

生徒に学習課題（問い）を設定させて、その解決に向けて取り組む学習活動を授業に取り入れているか。

そうしている わりとそうである



そうしている わりとそうである



※地理総合では「教師が学習課題（問い）を設定する、課題解決的な学習活動を授業に取り入れている」、歴史総合では「教師が学習課題（問い）を設定して、生徒がその解決に向けて取り組む活動を授業に取り入れている」、公共では「教師が学習課題を設定する課題解決的な学習を取り入れた授業を行っている」に対して、該当する選択肢を4件法で聞いている。

※公共では「生徒自らが学習課題を設定する課題解決的な学習を取り入れた授業を行っている」に対して、該当する選択肢を4件法で聞いている。

（出典）令和6年度高等学校学習指導要領実施状況調査より（暫定値）

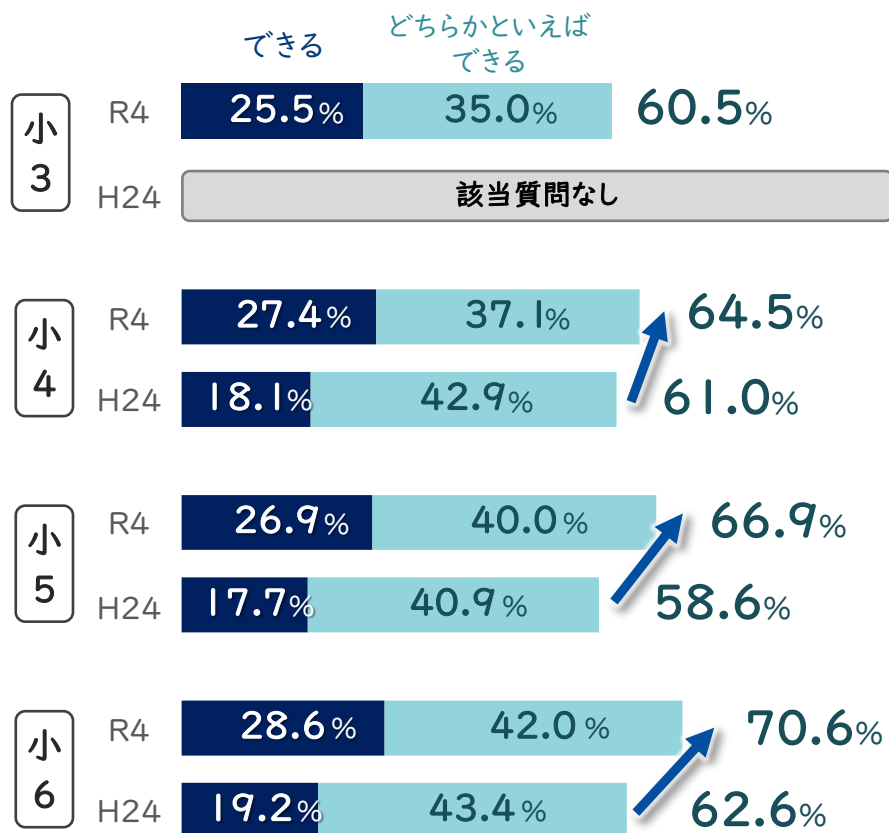
※各回答の数値は、小数第1位までの概数で表示。肯定的な回答を求める際は、小数第2位以下も含めて計算するため、それぞれの数値は一致しない場合がある

【児童質問】自分の考えを資料などを使って説明することについて

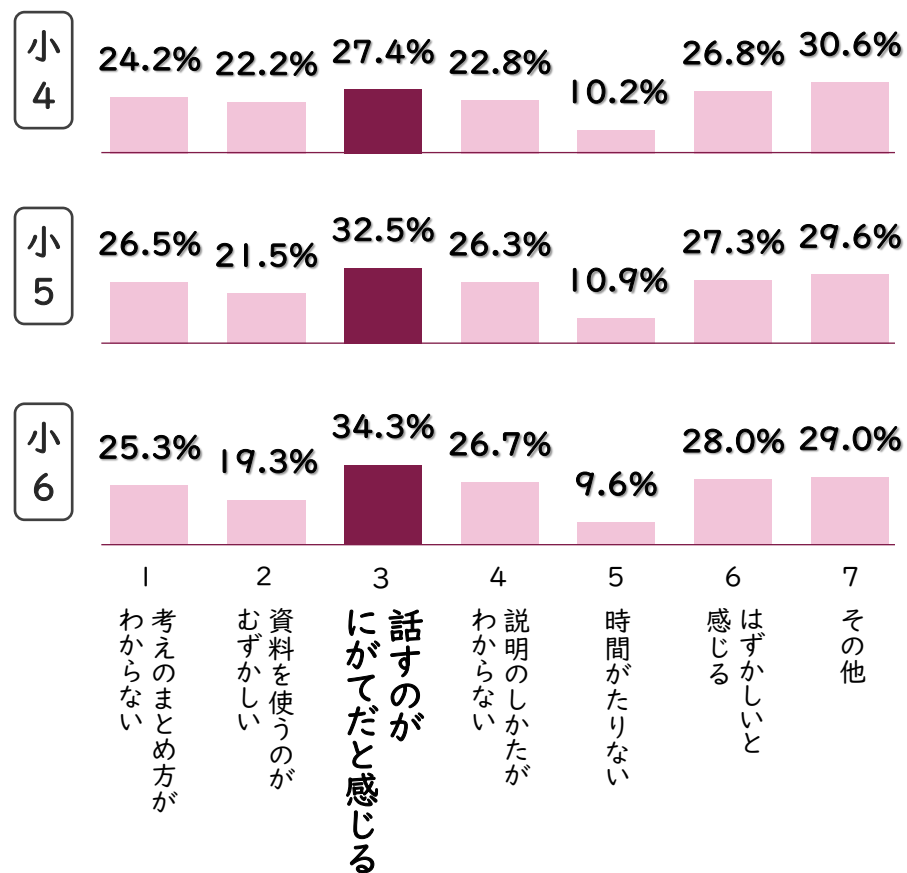
小学校・社会科

◆ 自分の考えを資料などを使って説明「できる」と回答した割合が前回調査より高い一方で、「話すのがにがてだと感じる」と回答した割合が各学年共に高い

自分の考えを資料などを使って説明することができますか。



「自分の考えを資料などを使って説明すること」について、次のようなことはありますか。あてはまるものをすべて選んでください。

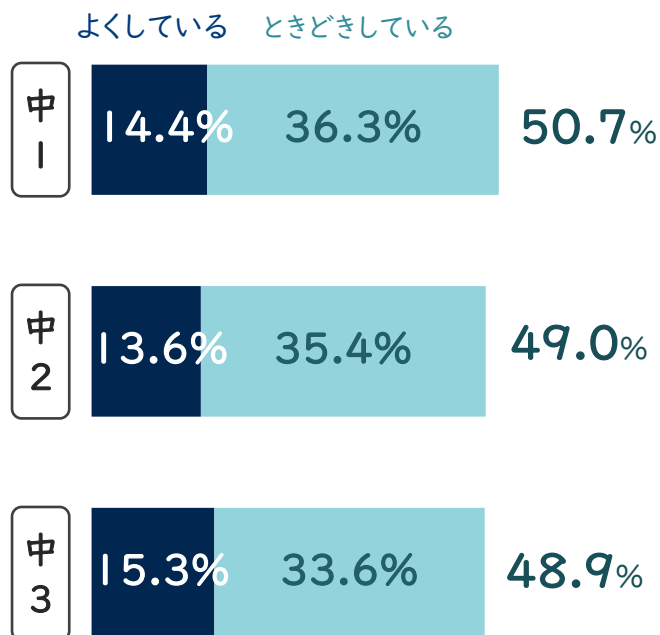


※前回調査(H24調査)では「社会科の授業で、自分の考えを資料などを使って説明することができますか。」と聞いている。

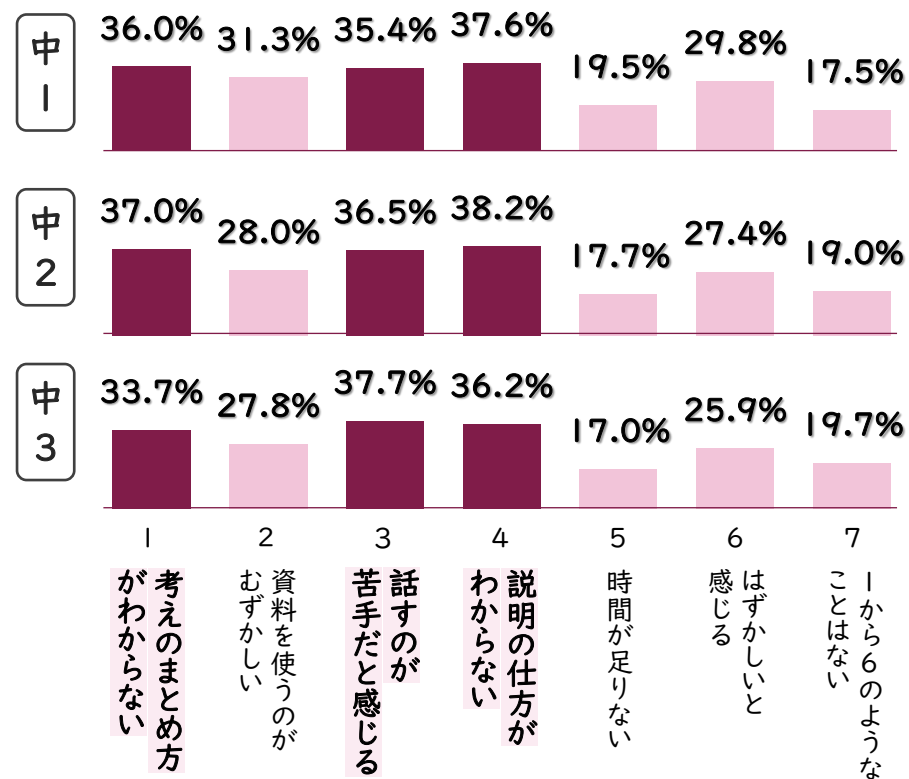
(出典) 令和4年度小学校学習指導要領実施状況調査より
※各回答の数値は、小数第1位までの概数で表示。肯定的な回答を求める際は、小数第2位以下も含めて計算するため、それぞれの数値は一致しない場合がある。

- ◆ 自分の考えを資料などを使って説明していると肯定的に回答した割合は、約50%
- ◆ 「考えのまとめ方がわからない」、「話すのが苦手」、「説明の仕方がわからない」と回答した割合が各学年共に高い

自分の考えを資料などを使って説明していますか。



「自分の考えを資料などを使って説明すること」について、次のようなことはありますか。当てはまるものを全て選んでください。

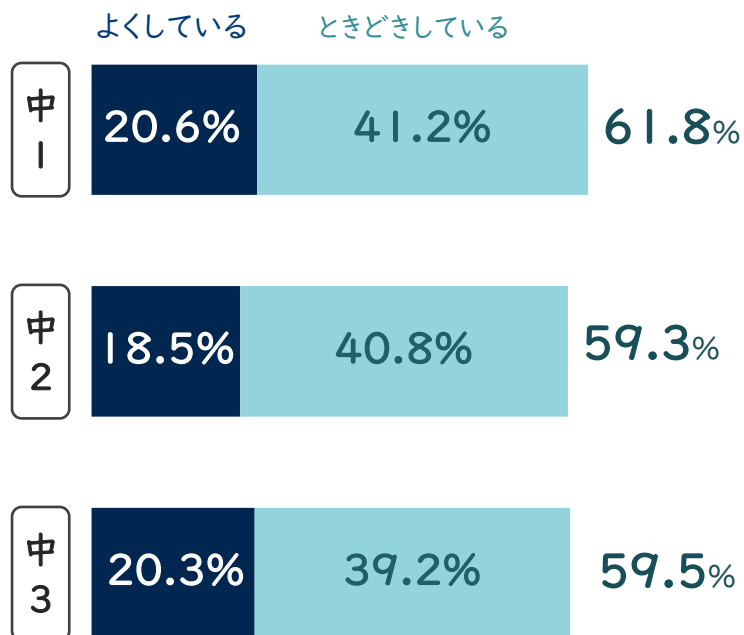


(出典) 令和5年度中学校学習指導要領実施状況調査より(暫定値)

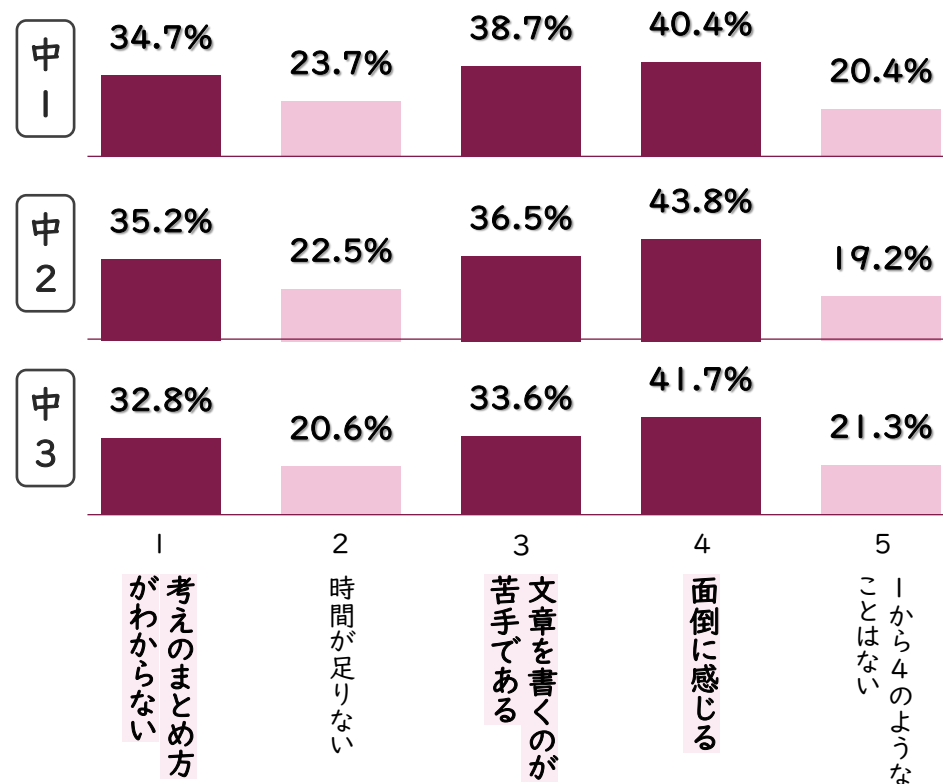
※各回答の数値は、小数第1位までの概数で表示。肯定的な回答を求める際は、小数第2位以下も含めて計算するため、それぞれの数値は一致しない場合がある。

- ◆ 調べたことを基に自分の考えを図に表したり文章で書いたりしていると肯定的に回答した割合は、約60%
- ◆ 「考えのまとめ方がわからない」、「文章を書くのが苦手」、「面倒に感じる」と回答した割合が各学年共に高い

調べたことを基に自分の考えを図に表したり文章で書いたりしていますか。



「調べたことを基に自分の考えを図に表したり文章で書いたりすること」について、次のようなことはありますか。当てはまるものを全て選んでください。

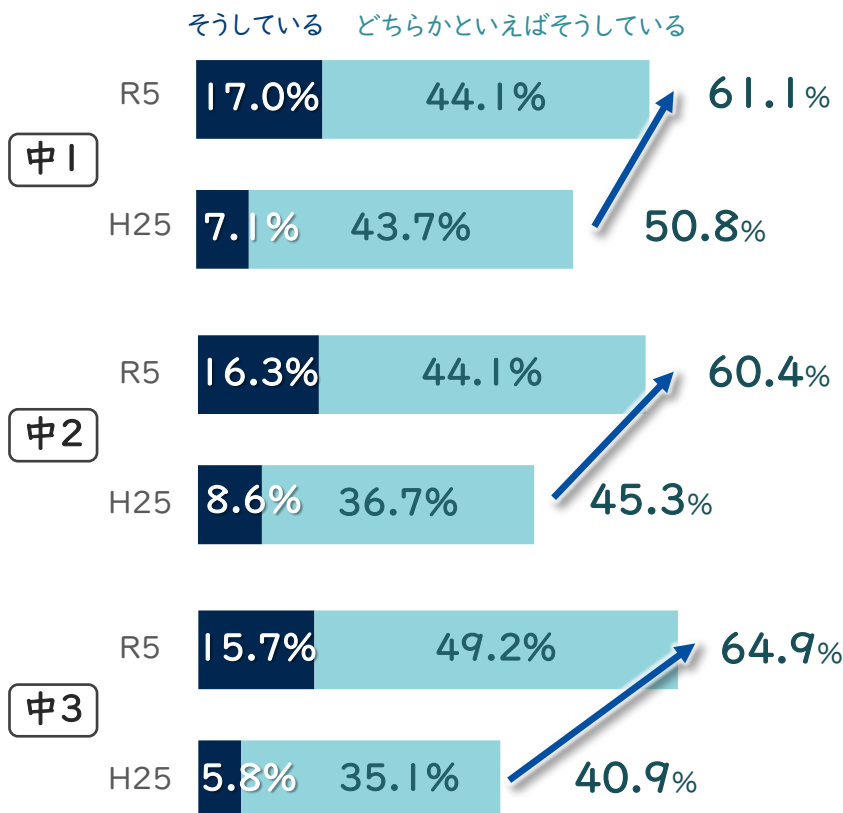


(出典) 令和5年度中学校学習指導要領実施状況調査より(暫定値)

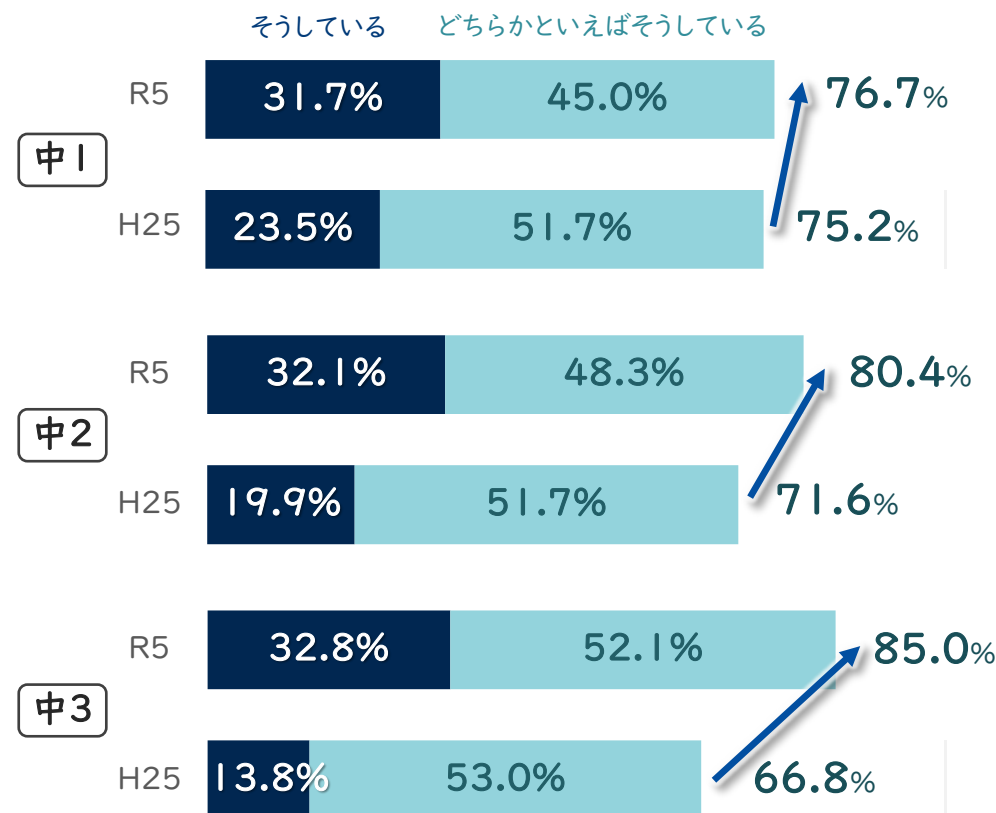
※各回答の数値は、小数第1位までの概数で表示。肯定的な回答を求める際は、小数第2位以下も含めて計算するため、それぞれの数値は一致しない場合がある。

- ◆ 生徒が予想に基づいて調べる計画を立てるよう指導している教師の指導を受けている生徒の割合は、前回調査から上昇しており、60%を超えている。特に、中3については、前回から24%上昇
- ◆ 自分で資料や情報を探したり調べたりするよう指導している教師の指導を受けている生徒の割合も前回調査から上昇しており、特に中3については、前回から18%程度増の85%

生徒が予想に基づいて調べる計画を立てるよう指導していますか。



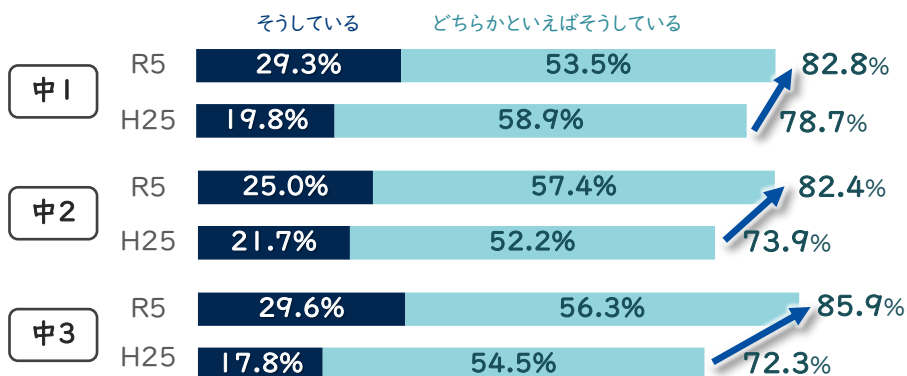
生徒が自分で資料や情報を探したり調べたりするよう指導していますか。



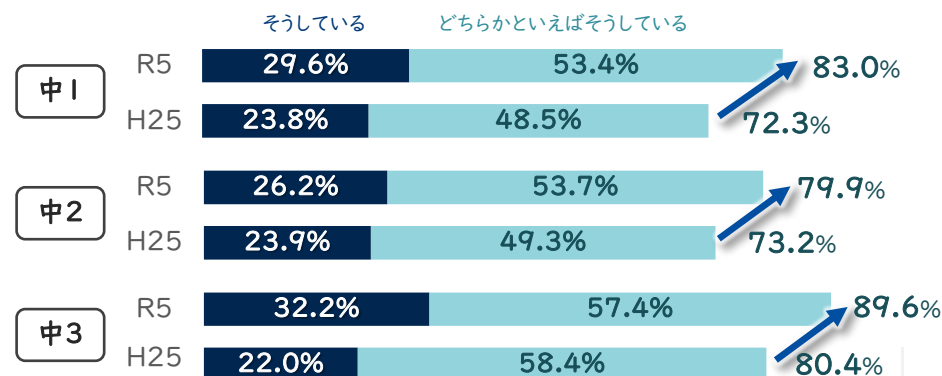
(出典) 中学校学習指導要領実施状況調査より(暫定値)
 ※調査方法や設問等については、前回調査と異なる場合があることに留意する必要がある。
 ※各回答の数値は、小数第1位までの概数で表示。肯定的な回答を求める際は、
 小数第2位以下も含めて計算するため、それぞれの数値は一致しない場合がある。

- ◆ 調べたことについて「特色や意味を考える」、「根拠や理由を説明する」ように指導している教師の指導を受けている生徒の割合は 前回調査から上昇し、80%~90%強
- ◆ 他の立場から考えたり他の情報と比較させたりする授業の実施状況も前回調査から上昇
- ◆ 課題やテーマを決めて討論する授業の実施状況は前回調査から上昇しているが、50%前後にとどまる

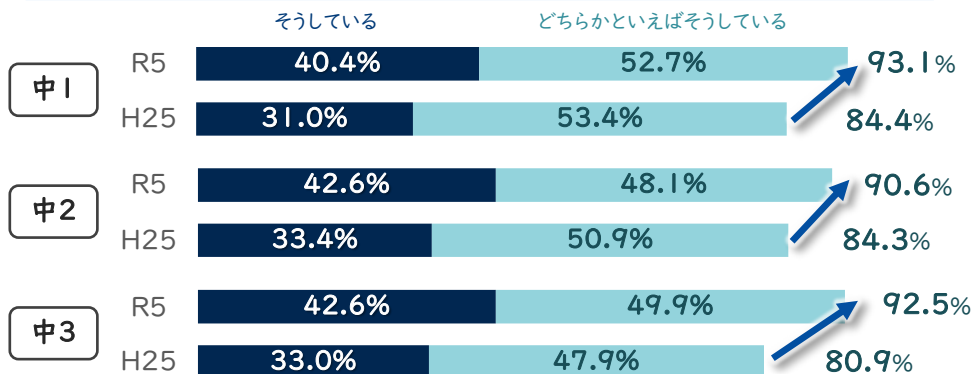
調べたことについて、どのような特色や意味があるかを考えるよう指導していますか。



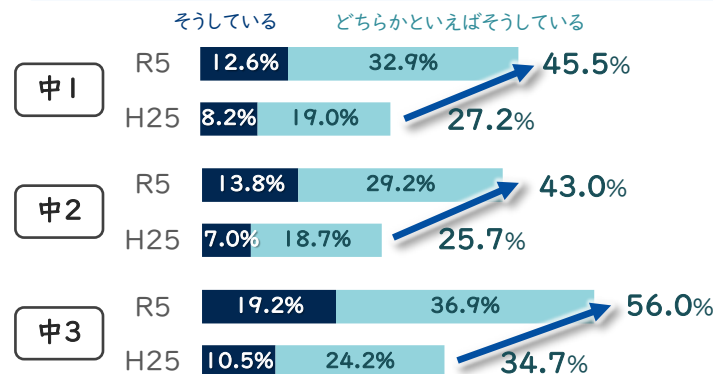
他の立場から考えたり他の情報と比べたりして考えるような授業を行っていますか。



調べたことや考えたことについて、根拠や理由を説明するよう指導していますか。

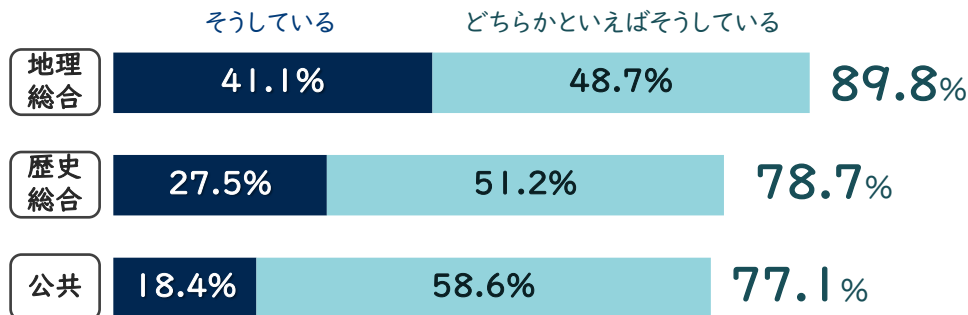


課題やテーマを決めて、討論する授業を行っていますか。



- ◆ 複数の資料を比較したり、関連付けたりする学習の実施状況は地理総合では89.8%、歴史総合、公共では70%後半
- ◆ 他者の立場や、他の情報と比較して考える授業の実施状況は、地理総合で77.3%、公共で86.8%
- ◆ 歴史総合において、調べたことの特色・意味を考えるよう指導している教師の指導を受けている生徒の割合は69.6%
- ◆ 公共において、情報の信頼性や客観性、真偽などを確認するよう指導している教師の指導を受けている生徒の割合は86.3%

複数の資料を比較したり、関連付けたりする学習活動を授業に取り入れているか



※地理総合では「いくつかの資料などから読み取れる情報を比較したり、関連付けたりする学習活動を授業に取り入れている」、歴史総合では「いくつかの資料などから読み取れる情報を比較させたり、関連付けたりする学習活動を授業に取り入れている」、公共では「複数の資料を関連させて考えさせる授業を行っている」に対して、該当する選択肢を回答する形式となっている。

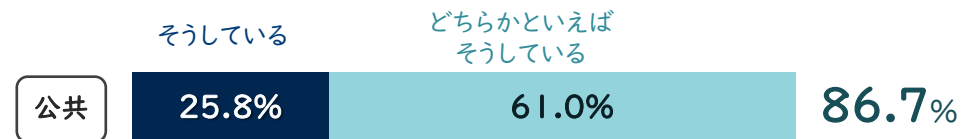
調べたことについて、どのような特色や意味があるかを考えるよう指導している



他者の立場から考えたり他の情報と比べたりして考えるような授業を行っている



他の立場から考えたり他の情報と比べたりするなど、多面的・多角的に考えさせる授業を行っている



情報の出典や発信者の立場なども踏まえ、情報の信頼性や客観性、真偽などを確認するよう指導している



(出典) 令和6年度高等学校学習指導要領実施状況調査より(暫定値)

※各回答の数値は、小数第1位までの概数で表示。肯定的な回答を求める際は、小数第2位以下も含めて計算するため、それぞれの数値は一致しない場合がある。